大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可

昭和十一年八月三十日　新京日日新聞　（日曜日）　第四千八百八十二號　（一）

新京日日新聞

夕刊　八月二十九日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓　郵税 一ケ月拾五錢
廣告料 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越内之介

成都事件に對する日本政府の最後的態度

川越大使の報告を基礎とし 第二次三相會議開催

【東京國通】成都暴動事件の重大性に鑑み日本政府は現地よりの調査報告を鶴首しつゝ、拔本塞源的對策を進めてゐるが、有田外相は廿八日の閣議に於て成都事件に對する一應の善處方針を閣僚に報告諒解を求めて歸省、午後三時半から大臣室に堀内次官、桑島東亞局長、上村同第一課長、關係首腦部を招致緊急省議を開催、南京政府に對する第一次抗議の具體案を作成し長時間に亘つて愼重協議を重ねた、一方川越大使は事件勃發の報に廿九日中には青島から上海に歸任する筈であり、成都に急行した糟谷領事、松村書記官よりの報告を待ち直ちに有田外相に駐支大使としての重要報告進言を行ふ事となつてゐるから右報告を基礎に第二次外務、陸海軍三省會議は卅日乃至卅一日中には開催、今次事件に關する斷乎たる日本政府最後の對策が決定される事となつた

中央、廣西開戰

五十萬の大軍に對して 蔣氏出動命令發す

【廣東廿八日發國通】廣西軍の廣東省内侵入の報に接するや蔣介石氏は廿六日午後程潜、何鍵、余漢謀、胡宗南氏等首腦部を黄埔行營に招集重要軍事會議を開催し愈々廣西軍を邀撃するに決定、同夜直ちに廣西省を包圍する陸海空五十萬の大軍に對し即時軍事行動に移るやう電命を發した、こゝに久しく對立狀態にあつた中央對廣西關係は愈々爆發開戰の火蓋は切つて下された、五十萬の大兵に三百餘臺の飛行機廿四隻の軍艦を擁し近代化された蔣介石氏、全省民を總動員する廣西軍は近々一大衝突をなすものと見られる

廣西軍先手を打ち 軍事行動開始

【廣東廿八日發國通】救國軍總司令李宗仁、副司令白崇禧、廣西省政府主席黄旭初、十九路軍々長蔡廷楷、李濟深、總參謀長兼第八軍長李品仙、劉廣隱氏以下軍政首腦は廿五日夜南寧樂群社に於て緊急軍政聯席會議を開催、蔣介石氏の欺瞞平和工作を過信、徒らに日時を遷延するに於ては益々中央軍の軍備強化の餘地を與へては廣西軍自滅を招來する虞れあり中央の戰略展開の先手を打ち即戰主義を以て乾坤一擲輸贏を決すべしと意見の一致を見愈よ討賊軍事行動に出づるに決定、同夜深更前記首腦部の連名を以て前線各部隊に對し左の如く討賊通電を致した

蔣介石氏は國事を盜竊し併民政策をとる事多年、東北を（滿洲國）並に華北將に併呑されんとし中國を存亡の危急に陷れ然も何等の抵抗を試みず内に憂、外に怯、我等同志が國民の等しく熱望する抗敵運動に蹶起するや大兵を雲集して内戰を起さんと企圖し多數の飛行機を廣西省内に放ち、四億民衆の膏血を絞りたる武装を以て無辜の民衆を殺戮す、我等同志は茲に三民主義と胡漢民氏の遺囑を捧持し中華救國と民國革命達成のため國賊討伐の師を起さんとす

尚ほ獨立政府組織に關しては當局は目下のところその用意なしと否定してゐるが、中央の正式討伐令發布と共に南寧に全國代表非常會議を開催し右議決の形式を以て結成組織するものと見られる

廣西軍省境を突破 廣東省内侵入

【廣東廿九日發國通】廣東軍消息によれば廣西軍は廿六日未明を期し南部及び東部省境を突破し廣東南部及び西北江に向け一齊に廣東省内に侵入を開始したゝめ中央軍は衝突を避けるため全線に亙り後退したと、尚衝突に關しては極力否定してゐる

廣西行貨物 一切抑留さる

【廣東廿九日發國通】西、北方面の風雲急迫せるため黄埔行營の運輸部は廿八日より專ら軍用に供するため廣三鐵道の貨客運輸停止を命ずると共に廣州一帶の民衆の強制徵發を行ひつゝあり、又梧洲よりの消息によれば中央軍は西江の德慶に貨客檢査處を設け廿七日より船舶の檢査を開始し廣西行の一切の貨物は悉く抑留これがため梧州揚げ貨物は

“國策は速やかに具体案を決定せよ”

陸海相、首相に強調

【東京國通】寺内陸相、永野海相は廿八日の三相會議散會後居殘り廣田首相と會見、先づ兩相より成都事件に關する三相會議の内容を報告した寺内陸相は去る廿五日の閣議で決定した國策は速かに具體案を決定して豫算化を圖るべきである又電力統制強化案に就ては目下關係四相會議で審議を進めてゐるやうであるが餘り議論銖を窶んでゐたのでは改革は出來ない故政府は斷乎たる決意を以て國策具體案を決定實現に邁進しなければならないと國策の具體化に對する陸軍の意向を傳へ永野海相よりも同國策實施を督促し電力統制強化、行政機構の改革其他に關して腹意なき意見の交換を爲し兩相は午後一時十分辭去した

不法越境事件

關東軍本省へ報告

【東京國通】東寧附近ソ聯騎兵不法越境事件に關し廿八日關東軍より陸軍省へ詳報到着し不法事件の詳細判明した、即ち同報告によれば最近ソ聯軍の不法越境激增の氣配あるに鑑み、〇〇駐屯守備隊は一部兵力を出し國境線監視中偶々ソ聯騎兵廿騎舊烏蛇溝河を横ぎり越境侵入し來るを發見したので守備隊將校が露語を以て停止を命じ肯じざるときは射撃す可き旨を警告したるもソ聯兵これを無視し越境進撃し來つたので遂に守備隊指揮官は發砲を命じ之を國境線外に撃退不法行動禁遏の措置に出たものである、ソ聯兵の態度極めて惡化し日本守備兵に對し頻に不法射撃を繰返へし既に去る六月以降本月廿八日に至るまで廿數件、銃彈數百發を我方に向け發射し、事態は漸く惡性を帶びつゝあり現地に於てはその都度嚴重抗議を繰返へしてゐるもソ聯側に反省の色なく、有田外相よりも嚴重抗議を提出し、ソ聯側の反省を求めたが日本側としてはソ聯側が日本の抗議を無視し反省の色なく今後もかゝる不法行爲敢てするに於ては事態の重大化は免れずかゝる場合その非はソ聯側にありとし嚴重監視中である

重光大使、對ソ政策協議

【東京國通】新任駐ソ大使重光葵氏は廿八日午後四時半外務省に登廳有田外相と會見、大使新任の官記傳達を受けたる後一時間に亘り對ソ政策につき重要協議を遂げ引續き堀内次官と會見、右具體策につき懇談した

完全に杜絶した 中央軍 柳州、柳城を空爆

【廣東廿九日發國通】梧州來電によれば、貴陽の中央軍飛行機六臺は廿七日正午柳州、柳城上空に飛來飛行場及び市中の爆撃を敢行市民百餘名を殺戮し、屢次に亘る空襲で同地は全く恐怖狀態に陷つた

廣西軍先鋒 信宜を占領

【廣東廿九日發國通】當地軍界の消息によれば廣西軍第四十三師蘇租香軍約一萬は廿六日省境を突破、先鋒の蘇兆鵬旅は廿七日信宜の北方東鎭、新墟附近にある中央軍第九十三師甘勵初軍と衝突激戰の結果之を茂明方面に撃退、廿八日朝信宜を占領、石城にある友軍第四十五師賀維珍軍と呼應、茂明、化縣の中央軍第六十七、九十三師を壓迫しつゝあるため蔣介石氏は廿八日朝羅定附近の羅卓英、萬楊煌兩軍の一部二萬を同方面に救援すると共に廣東中央軍空軍第三第五兩隊の爆撃機十八臺を急派廣西軍爆撃を開始した

海軍明年度豫算 七億七千萬圓

主計局側一割五分縮減を要求

【東京國通】海軍明年度豫算概算七億七千萬圓は陸軍に先立ち大藏省に提出したので大藏省主計局は海軍當局の説明を要求すると共に七億七千萬圓に對し約一割五、六分方の縮減を實行してもらはねばならぬとの意向を堅持して居る様だが、海軍としては七億七千萬圓の數字は各部局より提出要求せる總額十數億圓を切詰め軍令部との折衝により最少限度の計畫を要求したもので、殊に新規要求費の根幹をなす艦艇建造費には第二次補充計畫の最終年度分一億八千萬圓が含まれ更に無條約狀態に對處する第三次補充計畫の初年度主力艦々艇建造計畫の初年度分を組込んであるのであるから大藏省の希望するが如き一割以上と言ふ大縮減は絶對に應ずべからずとなして居る

紛爭解決の基礎方法檢討

日濠會商第一日目

【キャンベラ廿八日發國通】日濠會商再開第一次會談は豫定の如く廿八日キャンベラで村井シドニー總領事とガレット通商條約相との間に開始されたが會談は頗る友誼的雰圍氣の内に進められ日濠間の通商紛爭を圓滿に解決すべき基礎的方法につき、各方面からの檢討を行つた討議は今後一週間繼續される筈で村井總領事はその上本國政府へ會談内容を報告するものとみられる

人事往來

▲安藤少將（ハルビン特務機關長）二十九日午前八時五十分大連より
▲三浦關東局秘書課長　同七時三十五分奉天より
▲黒岩浩一氏（遞信省官吏）同
▲柴崎百尾氏（錦州領事）同二十九日午前東京へ
▲宮本重房氏（貿易商）同錦州へ
▲加藤一郎氏（電業公司）同圖們へ
▲西澤源一郎氏（貿易商）同奉天へ
▲福渡一雄氏（商業）同圖們へ
▲挾間富貴氏（電業公司）同來京國都ホテル
▲藤居駒太郎氏（貿易商）二十八日午後四平街へ
▲内田五郎氏（チチハル領事）同圖們へ
▲松本光三氏（鐵路總局）同チチハルへ
▲增谷憲信氏（商業）同奉天へ
▲太田信太郎氏（代議士）同ハルビンへ
▲末宗安吉氏（商業）同鞍山へ
▲由良龜太郎氏（會社員）同
▲長井次郎氏（日滿鋼管會社）同内地へ
▲高橋孝氏（大連汽船社員）同來京國都ホテル
▲竹内龜次郎氏（日立製作所）同
▲野村虎雄氏（明電舍技師）同
▲宮副義智氏（三和ゴム會社）同
▲松井四郎氏（榊谷組）同
▲栗本秀顯氏（官吏）同
▲石丸英氏（海運業）同
▲諸隈正治氏（醫師）同滿蒙旅館
▲北村操氏（官吏）同
▲山下貞夫氏（航空社員）同富士屋旅館
▲村松光太郎氏（教員）同國華ホテル
▲阿部孝次氏（滿洲鑛發會社）同
▲五百旗頭政次氏（大林組）同
▲炭竈庚一氏（大連汽船）同
▲松岡林造氏（會社員）同
▲井岡大輔氏（技師）同
▲竹中吉之助氏（商業）同松屋旅館
▲池田義雄氏（會社員）同
▲日野千代吉氏（國鐵員）同
▲岩井一氏（官吏）同

團體

▲滿鐵新入社員視察團四十名二十九日午後三時二十七分來京

その日く

□大使重光“ソ聯研究が第一”と語る、その前に彼をして我を正解せしむること

□南鮮の風水害おびただしい犧牲を出す、不言實行先づ治水からはじめねばなるまい

□全滿都市對抗球技、建國五周年を記念し國都に展開、初秋をいろどる豐かな收穫

□天際秋雲薄くけふ好晴景、だがすでにそれは寒い季節の前觸れ、用意はいいか？

□輸入組合旅館兼營形變へて出現、組合あつての輸入ビルあつての久末君でない筈

乳房ある悲み

（續上濱上映）

中西伊之助 作
泉武久 畫

（百四十四）

亡靈（六）

『だが、あの男がどうしておばさんのいふことをさう素直にきくやうになつたのか、それが不思議だ……たとへおばさんのれいの病氣を起したとしてもだね』

『この頃は齊さん全く人が變つてしまつたわ、そしておばさまのいふことならなんでもきくらしいのね……』

『變態が二人寄つたんだ、――これあ大へんなことになるぞ……』

『全く困つたことになつて來たわ！……』

三人は、しばらく默つてゐた。と、表に人聲がした。

萬里子は起ち上つた――早くかへらないと、妹の登美子が學校から退けて來ると困るからであつた。

『もうしばらくお話してゐらつしやいよ』

と玉汝は止めたが、萬里子は心配でたまらなかつたので強ひて玄關へ出た。と、そこに一宮が立つてゐた。

『いらつしやい……』

と萬里子は力なくいつて下駄をはいた。

『もうおかへりですか』

一宮は快活にいつて、體をよけた。

『……』

萬里子はうなづいて、逃げるやうに表へ出た、と、そこにまた一人の青年が立つてゐた。萬里子はその青年を見ると、赫つと全身を火のやうにした、青年は淺吉であつた。

暫く、二人は顔を見合したきり無言で突ツ立つてゐた……。

が、二人は言葉を交すことに躊躇した。二人が知り合ひであることさへ、一宮や玉汝は知らない筈であつたからだ

萬里子は、いつまでもそこに立つてゐることはできなかつた。彼女は他の二人の男女の手前、そこを默つて去らなければならなかつたのだ、だが、彼女の脚は鋼鐵のやうに動かなかつた。

『白川君、はいりたまへ！』

一宮は淺吉を呼んだ、その聲をきくと、萬里子は跳ねとばされたやうに、向ふの通りへかけ出した。

彼女は、一丁あまりも夢中で歩いた。そしてぼんやりと立ちどまつて、深い溜息をした。が、彼女はそこより先へどうしても足が向かなかつた恥を忍んで、再び引きかへさうかと思つて見た。熱い涙がさめ度もなく頰を傳つた。

暫く彼女はそこに佇んでゐたが、腕時計を見ると、もう二時近くなつてゐる、ここから芝へかへるのには、一時間は充分かかる、もし妹に見つかつたら、それこそ一身の破滅――といふよりも一家の破滅である！彼女はそれを考へると、どうしてもこんなところでぐずぐずしてゐられないと思つた。

が、このいゝ機會を外せば永久に淺吉と逢ふことはできない、決して、再び逢ふことは出來ない！そして自分はあの恐ろしい結婚を強ひられて一生涯を暗黒の淵に沈まねばならないのである……』

引きかへさうか？――そこには一家の破滅がある！行かうか！――そこには自分の破滅がある！彼女は火のやうにいらいらしながら、石のやうに動かなかつた、腕時計は刻々に彼女の肉を刻んで行つた

萬里子は、急に氣が狂つたやうに、省線電車の驛の方へかけ出した、兩側に繁つた雜木林の細い路を、ハンカチーフで迸しる涙を押へながらかけるやうに急ぎ足で歩いた。

想出新たに甦る關東震災記念日

日の丸辨當、禁酒等を高唱

全市民に對し非常時意識覺醒

日本の富の大半を奪ひ去つた關東大震災は早くも十三年の昔となつた年々歳々迎へるこの記念日には今更涙の新なるを覺へるが本年も九月一日日本領土内はもとより凡そ日の丸の國旗のひるがへるところ國民の衷心よりなる記念祭が執行される、新京に於ては滿鐵地方事務所、新京敎化聯盟が主催となり一日午前六時全市民が新京神社境内に集合遙か東の方東京に向つて遙拜し震災時間午前十一時五十八分（滿洲時間十時五十八分）にはサイレン、寺院の鐘を合圖に全市民一齊に一分間の默禱を捧げて犧牲者の靈を弔ひ敎化聯盟では此の日震災當時を思ひ出させるやう〃日の丸辨當〃の持參を高唱、一方基督教婦人矯風會では當日禁酒標語〃庶政一新　擧つて禁酒〃〃非常時には非常時の大決心〃など刷込んだビラ一萬枚を市内に撒するなど大いに國民の緊張を促すことゝなつた

搖ぐ昂奮球場を壓し建國野球幕開く

日滿兩國歌を高らかに合唱

電業、鞍山對峙す！

大滿洲帝國體育聯盟滿洲野球聯盟共同主催の第一回建國記念野球大會は二十八日午後零時三十分から西公園球場に於て全滿の精鋭十二チーム堂々一場に會し豫定通り盛大に開會式を擧行、同一時半から電業對鞍山軍の一戰によつて華々しく大會の火蓋は切つて落された、五色の幔幕が張りめぐらされ日滿兩國旗が清澄の秋風にはためく新大陸特有の烈日はなほ赫々として球場にそゝぎ、黑龍の優勝旗、大小の優勝盃は燦として光榮を放つ、球神果して何處に微笑むかは豫斷を許さぬものあり、ファンの群は折柄の土曜日に惠まれて陸續と殺到し定刻既に球場を埋める盛況さである、此日特に情報處では日滿兩國歌を數萬枚印刷し「君が代」には振假名を、「天地内一」には滿洲假名を施し、日滿兩國民として聲高らかに合唱せしめスポーツを通じて更によりよき親善提携の實をあげしめた誠に意義ある球讃譜建國記念のその名に背かぬ熱戰繪巻は今や五日間に亘つて繰り擴げられるのである

友誼重なる　實業團と電々軍

大連實業團選手一行は、二十八日來京したが、翌二十九日前田監督安前副監督並に岩瀬主將は電々會社を訪問、電々チームの瀬田野球部長並に鈴木主將と會見、去る八月十八日大連實業團球場に於て開催されたる大連實業對新京電々の試合中九回裏實業走者の片足が電々三壘手のグローブ紐革と、手との間に突入し、それを實業走者がインターフェアーと誤認したことより惹起されたる紛擾に付、兩者談笑裡に意見の一致を見て圓滿なる解決を告げた、紛擾以來一般ファンの間で問題を曲解してゐるむきもあつたやうであるが、今回の兩者の懇談に依つて、滿洲球界も明朗となり今後益々相提携して滿洲球界に貢獻することとなつた

南鮮風水害甚大

二十九日までに判明せる死者三百七十九名

【京城國通】南鮮地方の風水害被害は意外に甚大を極め二十九日午前零時までに判明せる慶尚南北兩道、全羅南北兩道、江原道の死者は計三百七十九名、負傷四十五名行衞不明八十八名に達したが内でも全羅南道木浦府及び麗水港は全滅の模樣である

南鮮一帶の颱風被害甚大

【釜山國通】廿七日朝鮮一帶を襲つた颱風は全羅北道、慶尚南北道、江原道を通過各所に風水禍を浴せて廿八日拂曉に至り漸く日本海に向つたが釜山地方に廿八日午前二時頃風速卅一米四の颱風となり鐵道不通、人畜の死傷、家屋の損壞浸水、送電の不能、電信電話不通、船舶の沈沒破壞等續出し破害甚大に上る模樣であるが目下通信不能のため詳細判明せず、今回の颱風は明治卅七年以來の猛颱風で南鮮地方の被害は二千萬圓を突破するものとみられてゐる、尚ほ慶尚南道警察部調査による道内颱風被害狀況左の通り

死者八名、負傷者六〇名、倒壞家屋二五〇戸、床上浸水五〇〇戸　床下浸水一、〇〇〇戸、船舶沈沒破壞七〇

大邱以南は慶州、釜山鎭經由て連絡

廿九日夜來の豪雨により不通となつて居た京釜線の秋風嶺—黄澗間及大邱—枝川間は廿九日朝に至り復舊したが院洞—勿禁間は未だ復舊せぬため大邱以遠の旅客は慶州—釜山鎭經由の東海中部線及南部線による事となり、これがため午前七時新京發ひかりおよび午後十一時奉天發のぞみの内地連絡列車は約四十分釜山に遲着する、なほ手小荷物は延着承知のものに限り取扱ふ事となつた

全滿男子排球豫選大會　大連で開催

全滿洲男子排球選手權大會は全日本選手權大會滿洲豫選を兼ねて滿洲體育協會主催の下に來る九月六日大連運動場コートにて盛大に開催される、參加資格はアマチュアに限り參加料一ティーム一圓を添て三十一日までにメンバー明記の上滿鐵本社學務課滿洲體育協會宛申込まれたい、なほ滿鐵沿線の參加者に對しては無賃乘車證を發給されるから必要な向はその旨申込みと同時に明記されたいと

中央警察學校第三回運動會

中央警察學校では二十九日午前八時より南嶺國立運動場において第三回陸上運動會を開催した

狂犬病の撲滅を期し全滿一齊豫防週間實施！

來る一日より一週間大々的に

關東局、滿鐵地方部衞生課では來る一日から七日まで一週間を狂犬病豫防週間として全滿一濟に野犬の驅除、畜犬の豫防注射を實施しポスター掲示、ビラ配布、各小學校での講演を大々的に行つて狂犬病豫防の徹底を期することゝなつた、新京においても一日午前九時から約二時間に亘つて自動車オートバイ數台で市街宣傳や各小學校長に依頼して狂犬病の講演、四、五日の兩日は消防隊で豫防注射、その他週間中はポスター、ビラの配布、野犬の驅除を行ふから飼主は畜犬の放し飼ひをせぬやうに特に愛犬家は注意されたいと

坂本〇隊の剿匪

水野部隊の坂本〇隊は二十七日珠河縣老大屯南方一キロ附近に於て約四十の匪團と遭遇し之と交戰、殲滅的打擊を與へて西北方に擊退した、敵の遺棄死體二十八、鹵獲品小銃七、拳銃二、捕虜二、我方損害戰死兵大橋寅二、負傷兵二

（寫眞）吉野町柳屋ウインドウに陳列された乘用馬車料金計算懸賞募集投票にかけられた當選者賞品

電線管泥　哈市で捕はる

朝日通り領事館前共榮電氣商會元店員靜岡縣駿東郡富士岡村生れ土屋巳（二一）は五月二十日共榮商會を解雇され二十三日午後三時ごろ滿鐵新京機關區機關庫新築場現倉庫内から電線管百本時價二百三十圓を竊取し姿を晦ましたが新京署の手配によつて二十八日午後四時ハルビン道裡斜紋街に潜伏中をハルビン署員に逮捕された

盗んだガソリンで生活費稼ぎ

滿洲國實業部車輛係では最近自動車用ガソリンの消費量が法外に高まるので總領事館警察署に屆出で内査中のところ運轉手李榮年（二三）劉成玉（二九）の兩名の擧動に不審な點があり領警で取調べた處兩名は昨年十一月以來共謀で責任者の目を盗んで毎月二罐づゝ約九ヶ月に亘り六十余罐を誤魔化し豐樂路西原公司東西條通り美大獵布所へそれぞれ賣却して自分の生活費に當てゝゐた旨自白した

八大都市對抗庭球大會愈よあす開戰

午前九時より西公園コート

（本社後援）

新京特別市公署新京體育聯盟滿洲國體育聯盟主催本社後援の第二回全滿八大都市對抗庭球大會はいよく卅日午前九時より西公園内庭球コートに於て開催されるが出場チームは大連、奉天、安東、鞍山、撫順、哈爾濱、吉林、新京各チームは午後七時五十分までに宿舍旭ホテルに集合組合せ其他を決定するが大會次第及び役員は左の如く決定した

▲大會役員名譽會長阮文教部大臣、顧問丁實業部大臣、馮司法部大臣、滿鐵河本理事、中野總領事代理、武田地事所長、會長韓特別市長、副會長鯉沼地事副所長、總務委員長、宇山財務處長、準備委員長加藤金保氏、記錄委員長佐々木氏

▲大會次第一優勝旗返還式（大連）二韓大會長挨拶、三試合上の注意（加藤審判長）、四試合開始、五優勝旗授與式、六閉會の辭（鯉沼副會長）、七萬歳三唱

なほ終つて文教部大臣の招宴が鹿鳴春で開かれる

張國務總理　青木次長を招待

張國務總理以下各部大臣は來る四日正午よりヤマトホテルに青木對滿事務局次長を招待し歡迎宴を催すが當日は日本側各機關及び政府側總方司長級以上も陪席する筈である

敎化聯盟主催　國旗掲揚式

新京敎化聯盟主催國恩感謝國旗掲揚式は九月一日午前六時から新京神社境内で擧行されるが當日は宛も關東廳始政三十周年記念日に當るので關東局三浦行政課長の講話がある筈であるが全市民の參加を希望されてゐる

下九台溫泉株式會社　創立總會開催　卅日午後四時より公會堂で

保養地、靜養地に惠まれない新京人にとつて丁度新京、吉林兩都市の中間下九台に豐富な鑛泉が發見されたのを利用し、同地に溫泉藥治を兼ねた一大歡樂地を設立す可くかねて下九台溫泉株式會社の創立が計畫されてゐたが、愈よその創立總會は三十日午後四時から記念公會堂で擧行される事となり國都人士の生活に潤ひを増す事となつた

新京青年學校の第三回綜合自治會　卅一日商業講堂で

新京青年學校では全滿聯合演習および査閲を目前に控へるとともに官民一般の日頃の厚情に感謝の意を表するため來る三十一日（月）午後七時から商業學校講堂において多數關係者を招き第三回綜合自治會を開催、青年の意氣を高唱することゝなつた

△プログラム

一、開會の辭　研二高野廣吉
一、見學發起事情　南欽論
一、見學記念賞授與　本多校長
一、見學報告
イ、大石橋青年學校を見て　研一窪山勇夫
ロ、撫順同　研二森園幸男
ハ、蘇家屯同　同財津幹三
ニ、安東同　同宮澤嘉三
ホ、奉天同　同大谷鶴雄
へ、奉天同　職一竹迫進
一、來賓の辭　本多校長
一、職員の辭　隅田欽論
一、先輩の辭
一、茶菓並に餘興
一、其後の自活會經過報告
イ、電業班　本三原口喜春
ロ、職業科　職一玉城忠治
ハ、一般班　研一山口德夫
ニ、新京驛班　研二齋藤博文
ホ、軍管局班　齋藤政一
一、新京青年學校自治會萬歳

地方觀象台、觀象所設置

實業部は九月一日より左の地に地方觀象台及び地方觀象所を設置することになつた、

（名稱）	（位置）
延吉地方觀象台	間島省延吉縣延吉
承德地方觀象台	熱河省承德縣承德
密山地方觀象台	濱江省密山縣密山
東寧地方觀象台	濱江省東寧縣東寧

天氣と氣温

明日の天氣　南西の風晴後薄曇
日の出　前四時五九分
日の入　後六時一九分
月の出　後四時四七分
月の入　前一時五六分
けふの氣温　最高二七度七　最低一二度九

杉村氏講演會

新京基督教青年會では九月一日午後七時半から記念公會堂第三談話室で元奉天滿物館長で現在文教部在動の考古學の權威杉村勇造氏を招き「支那考古學に就いて」と題する講演會を開催する、一般の來聽を望むと

黎明會練習會

舞踊團體黎明會では三十日午後一時から公會堂にて練習會開催

新任軍關係者歡迎會

總領事、市長、地方事務所長發起の新任軍關係者歡迎會は二十八日午後六時半からヤマトホテルで開催主人側武田地方事務所長の挨拶、來賓代表米山部隊長の謝辭があり開宴、寛いで歡談八時頃散會した

經王寺の放生會

曙町二丁目經王寺（お稻荷さんのお寺）では日頃各家庭の食膳に供されたり營業の爲め各料亭飲食店で使用されたる魚類鳥類等の靈を慰めるため例年舊盆を期して放生會を盛大に營むことになつてゐるが本年も八月卅一日午後一時から大新京料理店組合、大新京調理師會、新京料理店組合、新京三業組合等後援のもとに大慰靈祭を執行する事になつた、此の慰靈祭は之等同族の生きた物を佛前に供へ法要後之れを西公園にて放流放場し以て聊かなりとも彼等の靈を慰むる主旨なれば當日各人各家多少なり共佛前に供へ慰靈祭をより盛大に遂行をされむ事を切望するとの事

新京聖公會

日曜日（八月卅日）三位一體後第十二主日
日曜學校　午前九時　聖堂
早禱禮拜　〃　十時
（禮拜に於ける詩九五篇）　司式　久原牧師
晩禱禮拜　午後八時
（奇蹟研究＝水を葡萄酒に）　司式　久原牧師

西本願寺行事

一、晨朝法話（毎日）午前六時
一、日曜學校　午前十時
一、日曜講話　午後一時半
演題「人生の行路」　講師　本願寺主任　光岡慈昭師
同「歡びとは」　本願寺布教使藤野哲行師

日本メソヂスト

一、禮拜　三十日午前十時十五分　「主にあひて喜ぶ」　大友牧師
一、夕集會　同　午後七時半　共勵會の夕

日本ホーリネス集會

一、日曜學校　八月卅日午前九時
二、禮拜　午前十時　說教『生命の流れ』　三笠牧師
三、傳道會　午後七時半　拓植義一氏
來聽歡迎

日の出を拜す集ひ

集合午前四時五〇分、西公園誠忠碑前新京日ノ出時刻四時五九分、市民早起會五時卅分

あす（三十日）

▲王道學會講義、午前九時、公會堂第一集會室
▲青木對滿事務局次長着京、午後七時四十五分
▲西廣場町内會淨月潭へ、午前九時、驛前發
▲遊覽バス試乘會、午前九時驛前發
▲白菊町プール納會、午後一時より
▲建國記念野球大會第二日、午前十一時、奉天滿倶對滿洲國、午後一時新京對大連滿倶、同四時安東對電業の勝者と鞍山、西公園球場
▲ラグビー電業對中學、午後三時電業グラウント
▲都市對抗庭球大會午前九時、西公園コート
▲秋季第二次競馬第四日
▲映畫實演等の會第二日、十二時より、公會堂

◇今晩の主なる演藝放送◇

▲六・三〇　子供と家庭の夕（大阪）大和撫子外大ぜい
▲八・〇〇　時事解說

大カフエー時代來る？

—新京カフエー街に一大エポック—　グラント銀パレス開場

片や喫茶界に日本橋通ハリウッドを經營し、片や銀パレスによりカフエーの大衆化、明朗性を强張して時代の進轉に順應し滿洲では稀しい位美人をよくも集めて常に業界の指導的立場により稀に見る人氣を持續して居る銀パレスは過般來隣接地の二店舗を買收して巨資を投じ大増築中の處近日中に竣工開場する由

それは總坪數約二百坪、新興建築の粹を採り在來カフエーが造花裝飾に明け暮れて居た型を完全に打破しその構想設備照明に獨自の創造的樣式所謂ニュウキヤバレー式デザインを用ひ、進轉して止まぬカフエー・ファンの心理に最も迎意的に具體化されて居る點、建築材料に最新科學製品並に高級材料を特に使用してある等其の規模形式、内容共に豪華版たるに恥ぢず吉野町裏に全滿に於ける最大最新の一大夜城を現出するの感あり

斯くて無軌道的に簇生し漠然と經營されつゝあるカフエー盛衰の第一期は終結して、其の後に來るものは實現するべくしてせざりしカフエーの合理經營と明朗化時代の前哨こそ大衆の待望して居る處ではないであらうか

而して過去に於て相當の利益を收めて居た業者も昨今國都の一般的の落着きと共に料理無くゴーかストップかの交叉點に停滯彷徨して赤青の信號燈を見つめて居るが、その信號その樣な客の歸趨か今一つ明瞭ならず過渡期に於る必然の惱みとして業者は昔のお盛んな時代の夢を追ふて嘆息して居る

斯る時カフエーは何處へ行く!!

今こそ業者自身經營の本體を研究する必要はないか經營と同時に女給チップ制度についても本質的に改善すべきものを自覺するを要せないが　かゝる時合理明朗化を叫ぶ業界の前衞グランド銀パレスの華々しきデビューは誠に興味多き宿題である

待望のクローム鍍金

新京東二條通松浦組　新に鍍金部開設

都市の進運發展に從ひ建築工業品の需用は亦實に夥しきもののあり中に鍍金類に於ては新京二三箇所在る鍍金業者も微々たるニッケル鍍金以外出來得ざる現今なりしも鍍金界の尖端クロームに至りては材料の高價なるより以上技術の熟錬を主要とする點に於て全く同業者の手を下し難き狀態なる折しも前記同鍍金部にては其點特に重要視し斯道に多年經驗鍛錬ある優秀の技術者を東京より招聘從事せしめたる由滿商工業者一般より期待せられつゝあり

大地の愛 けふからの帝都キネマ

帝都キネマ二十九日よりの番組は左の如く新興記念映畫「大地の愛」にパラマウント一番線を配した二本立大作併立週間である

▽新興大泉「大地の愛」前後篇大泉撮影所開設一週年記念トーキーとして曾根千晴の監督する作品、原作脚色には曾根千晴が擔り伏見信子、伏見直江、高津慶子、山路ふみ子、霧立のぼる、江川なほみ、姬宮接子、御影公子、高野由美、古川登美高田稔、河津清三郎、立松晃、清水將夫、田中春夫、新興オールキヤストが顏を並べ他に東海林太郎などが特別出演を行つてゐる、人の世の限りない物慾と涯しなき愛憎の相剋をとほして地上の愛の精神を描き出さうとしたメロドラマ何よりも豪華な顏ぶれがものを言ふであらう、キヤメラは古泉勝男の擔當

▽パラマウント「航空十三時間」「名を失へる人」「輝ける百合」のフレッド・マクマレイと「若草物語」のジョン・ベネットの二人を主役とし、これにザス・ピッツ、ジョン・ハワード・アラン・バクスター等を配した空中メロドラマである、監督にはミチエル・ライゼンが擔り原作は「鷲と鷹」のボガート・ロジヤースがフランク・ミッチエル・ティジーと協作し脚色には原作者ロジヤースが擔つた、紐育―桑港間定期旅客飛行機に乘り込んだ殺人犯と寳石泥棒とを繞つて疑心暗鬼、お互にお互を探り合つて醸し出される笑ひとスリル、そして十分な探偵的興味をも加味したプログラムピクチュアー、キヤメラはテオドル・スパークルの擔當である

"二つの顔" けふからの豐樂新キネ

豐樂劇場、新京キネマ二十九日よりの番組は左の如く日活一番組にRKO作品を配した三本立編成である

▽日活東京「はだかの合唱」玉川映二の原作により大谷俊夫がメガフォンを取つた海邊喜劇、杉狂兒、吉谷久雄、見明凡太郎、瀧口新太郎、高津愛子、村田知榮子花柳小菊、星玲子等、これにトンチン艦隊島羽、高瀬のコムビを配して作り上げられた作品、シナリオはサトウハチローの潤色を經て小國英雄と山崎謙太の二人が擔當してゐる、キヤメラは渡邊五郎、先づ興行價値の上からは絕對に保證出來る作品である

▽RKO「二つの顏」「男の敵」「Gウーマン」のウオーレス・フオードと同じく「Gウーマン」のヴライアンドン・レヴイーを始めフイリス・ブルツクス、エルツク・ローズ、アラン・ヘール、モリー・ラモント等新進中堅どころの顏を並べるギヤング映畫の變型で脚本はレイ・メーヤー他一人の書卸しものによりジョン・トイスト他一人がシナリオライズした、「鼻曲り」ドーソンと綽名された物凄い顏のギヤングが整形外科醫の手術をうけて犯行をくらますために撮影所入りをなし一躍スターとなるが、やがて前身が曝れて一騷動持上る、キヤメラはジヤック・マツチンヂーの擔當である

▽日活京都「弦月浮寢鳥」別項參照

秋の日本映畫 期待の三篇

秋の映畫シーズンへの各社のお膳立は、最近ほゞ整つていはゆる大物と銘打つ作品も多數封切られるが、この內作品の善し惡しは兎も角として一應問題としていゝ映畫が三本程ある、第一は左翼演出家として知名な村山知義氏がはじめてメガホンを取つて製作したPCL映畫『接吻の責任』で、最近氏が頻りに各種の新聞雜誌に『新日本映畫論』陣を張つてゐるだけに同氏のこの映畫理論がどの程度にこの作品に現れるかゞ見物である

◇

第二は今までトーキーを一度も撮つたことのない大船の小津安二郎がはじめてキヤメラ、マイクの二刀流を使つて製作中であつた第一回全發聲『一人息子』で、あの秘密な構圖を持つた小津監督が音を得て如何に變形されるかゞ期待の集點

◇

第三は例のアーノルド・フアンク博士が伊丹萬作と共同で製作中の『新しき土』で、これはトヤカウいふまでもなく日本の映畫界がはじめて外國の製作者と提携した作品といふのが最大の興味の中心である

▽▽弦月浮寢鳥△△

日活太秦發聲、尾上菊太郎、花井蘭子の主演する映畫で辻吉朗の監督作品、原作脚色には小磯夏男が擔つた、父の古傷をあばかうとする男を叩き斬つた源太が愛人お町を殘して旅に出てゐる間にお町は他の男と結婚してゐた、幾年かの後故鄕に歸へつて來た源太はお町を再び己のものにしやうとしたが、幸福なお町達の姿を見てはそれも出來ず又もやあてどもない旅に出て行くのだつた、助演者として上田吉次郎、市川正二郎、和田君示、遠藤英太郎、小松みどり等が兩人を助ける、キヤメラは河崎喜久三の擔當、豐樂劇場、新京キネマ二十九日封切、寫眞は花井蘭子

初秋を飾る豪華篇 「踊る明君」 長春座で大好評

秋のシーズンに放つた豪華版松竹京都の傑作「踊る名君」は今期の映畫界を俄然リードして各方面から轟々たる反響を集め、絕讃又絕讃人氣は人氣を呼び目下長春座は大盛況を極めてゐる此の物語は…其の頃勤王家で明君の譽れも高い、喜連川の城主英直卿の行狀記で、一家一門の爲めに狂人を裝ひ家中の陰謀をさぐり悶々の日を送る中、に王政復古のその時迄と時機の來るを待ち佗びる悲倉の明君、篇中戀あり義あり、忠臣奸臣入れ亂れ、血火渦卷く大繪卷「入婿合戰」と共に大好評、寫眞は長二郎の明君英直卿

仙人掌

あたし夏川大二郎が好きなの あたしの好きな人にそつくりなの、だからトテモ好きよ、その人今蒙古の方に行つてゐるんだけどモウふた月もしたら歸へつて來るワ、そしたら紹介してあげるワ、エ、何んですつて、夏川大二郎が大根ですつて、大根だつてかまやしませんよ、とに角あたしは好きなんだから―と、まるでお客さんは、彼女にのろけられに遊びに來た樣な思ひをしなければなりません▼そして後でかく念を押して言ふのであります、間違へちや困りますよ、夏川大二郎の方があたしの好きな人に似てゐるんですからネ（酒を飲むと少しばかり心臓の強くなるロートルのあや子クン）

雜音

長春座の「踊る名君」「入婿合戰」の二日目にぶつゝけて帝都の「大地の愛」「航空十三時間」が掲る▼前者は松竹系マークの持力を發揮した好番組、長二郎、川崎の名が絕對に客足を惹くであらう後者は久しい豫告宣傳と豪華なキヤスト、これに空中ものを併立させた大量編成がモノを言ふであらう、眞正面切つたいゝ取組みである▼豐樂新京キネマは日活一番線にRKOのギヤングものを配した三本立編成、これと言つて目覺しい大ものはないが粒の揃つた三本の編成は手頃なものと言へやう▼公會堂にも「悲劇大會」があるなど今週は賑やかである▼長春座の「世界大戰を語る」は軍人を始め市內各小中學校生徒に無料開放して好評を博した、來月三日からの「防空日本」も希望があるならば午前中を同樣無料開放するさうである、映畫教育の普及と徹底を主唱する湯淺さんのこの實際行動は褒められていゝものである（ついで乍ら希望の向きは事務所宛申込まれたい由である）

八月三十日 日曜 舊七月十四日 甲申 友引 建 虛宿

●一白の人 毛嫌ひせず衆人と親交厚ければ引立あり吉 庚と壬と癸が吉
●二黑の人 想を平かにして待てば甘露の日和來るべし 甲と巳と未が吉
●三碧の人 運氣轉換し來り萬事調子付きて進捗する日 巳と丙と辛が吉
●四綠の人 內に居て外事を指揮すれば却て效果現はる 巳と[illegible]と辛が吉
●五黄の人 駿を隔てゝ樂を聞くも亦一興と想ふべき日 甲と丙と壬が吉
●六白の人 得んと欲せば先づ與へ置くべし旅行移轉吉 乙と壬と癸が吉
●七赤の人 內に退屈し居るより外廻りが得策なる日 丙と丁と壬が吉
●八白の人 地步健全なれば旭の昇る如き勢ひを得べし 甲と巳と戌が吉
●九紫の人 靜座想に凝せば自ら妙案も浮び來るべし 丙と庚と戌が吉

大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)二二二五　營業局專用(3)二二〇〇

發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水渡內之介

國鐵一元化工作着々進捗

滿洲水運港灣事業
鐵道總局で統轄經營
現在の水運課を根本的に建直し
港灣政策の確立期す

【奉天國通】今次の全滿鐵道機構一元化に依り滿洲國に於る水運事業並に港灣の經營は鐵道總局に於て統轄經營を行ふ事となつたが右に伴ひ水運港灣事業を管掌する現在の總局水運課を擴充根本的建直しを行ふと共に國有鐵道發展の基礎をなす各線の終端港に對する港灣政策の確立を圖る事となつた、即ち從來全滿の港灣水運事業は滿鐵々道部建設局並に鐵路總局に依つて各別個に運營され來つたものであるが鐵道總局新設と共に地域別に依る海港政策を樹立、東部滿洲並に北滿ハルビン以南一帶を背後地として京圖、拉濱、圖佳線を幹線とする羅津、雄基、淸津の北鮮三港、南滿及びハルビン以南一帶を背後地として滿鐵本線、京濱、奉吉、平齊線を幹支線とする大連、營口の兩港並に熱河、興安兩省を背後地として錦承、奉山、大鄭線を幹線とする壺蘆島、河北の兩港に三大區分し從來の大連偏重主義を廢し滿洲國海港の全面的開發に乘出す事となつた

四課五部制の
鐵道總局新機構決定

鐵道總局新機構は愈々最後的決定を見るに至たので、滿鐵職制改正と同時に監督官廳の認可を俟つて、遲くも九月廿日前後には正式發表の豫定であるが、總局の新組織は總局長、次長制の下に總局長直屬の四課、五部を採用、從來の鐵路總局の總務、機務の兩處を廢し、新たに總局に編入された鐵道建設局を一部として加へ、陣容を一新する事となつた、各部、課の配置は大要左の如く決定されるものと見られる

一、總局長直屬機關＝文書、人事、資料、產業の四課、監査、參贊
二、運輸部＝旅客、旅館、貨物自動車、水運、運轉輸送の各課
三、工務部＝工務、電氣、工作の各課
四、建設部＝工事の各課
五、經理部＝會計、用度の各課
六、警務部＝警務參與、警務主任制

日鮮滿同率運賃と
手小荷物配達制度
十月一日より實施

【奉天國通】現行滿洲國有鐵道小荷物運賃は昭和九年四月國線の實情に即したるローカル運賃設定を主眼として制定せられたものであるが、最近日鮮滿直通並に連帶小荷物の激增及金圓對國幣パー相場の確立と、國鐵沿線の急激なる發展に伴ひ日鮮滿共通單一基本運賃並に手小荷物配達制の實施が各方面より要望せらるゝに至つたのに鑑み、總局に於ては來る十月一日より國鐵小荷物運賃率を滿鐵線、鮮鐵、鐵道省線其他の運輸機關と同一賃率に改正すると共に待望の手小荷物配達制度を實施する事となつたが、旅客及荷主の便益を日滿貿易の促進運輸の圓滑簡易化を齎らずものと期待される、改正要項左の如し

一、地方的小荷物運賃

現行省線、社線の小荷物運賃は各線共通單一であり、國線のみは之と異る運賃を採用し來つたが、他の運輸機關と同一に改正する、改正運賃は左の如し現行運賃に比し幾分高率となるも配達料をも包含するので荷主負擔には大體影響がない事になる

(イ)八十キロ迄一キログラムにつき十五錢、十二キロ迄四十錢
(ロ)八百キロ迄一キログラムにつき十五錢、十二キロ迄三十五錢
(ハ)以上八十キロを增す毎に、一キログラムにつき五錢

二、直通並に連帶小荷物運賃

從來國鐵小荷物運賃は他の運輸機關と基本賃率並びに運賃建貨幣を異にした關係上直通並に連帶小荷物の運賃計算キロ程は國線と他區間を切離し事實上併算なりしも今回同一運賃の採用に依り國線發の場合は國幣建に依り他運輸機關發の場合は金建に依り計算するに改定した、改正運賃現行運賃に比し二〇%乃至五〇%の大幅遞減となつてゐる

"宋政權は滿足すべき情態ではない"
板垣參謀長歸京談

宋哲元政權の軟化、山東の中央化等傳へられる折柄北支の隣接地帶滿洲國の治安維持責任者としての關東軍の意向を齎らして連絡のため北支に出張中の關東軍板垣參謀長は廿九日午後五時十五分新京飛行場着歸京したが、出迎への記者に左の如く語つた

北支では支那側の人達とは面會しなかつた支那駐屯軍北平駐在武官をはじめとして日本側各機關を訪ひ、忌憚ない意見の交換を行つた勿論北支の隣接地帶にあり且支那駐屯軍の後援者である關東軍の

意向は 十分先方に傳へて置いた、宋政權が當初の意氣込を失ひ、次第に軟化中央化したと傳へられて居るが、かゝる噂を生む事は要するに宋政權が滿足すべき情態でない事を示すものと斷じて差支へなからう

これに反して冀東政府は完全に日滿側と手を握り實によくやつてゐる、諸政着々と整備、政府の人達は盛夏にも拘らず午後まで勤務してゐるといふ熱心さだ、成都の事件は

天津で 聞いた、眞に遺憾千萬だ、今度の旅行でも感じたことだが實に邊陬の地に至るまで南京政府の排日思想が浸透してゐる、日本はかゝる南京政府の排日思想者及に對して斷乎たる態度を以て臨まねばならぬ、山東の如きも萬一南京政府が韓復榘氏に親日の故を以て辭職を迫るやうなことがあれば日本は斷じてこれを默許することは出來ぬ

蔣氏、中央軍に
正式應戰命令發す
廿八日の首腦部會議で決定

【廣東廿九日發國通】廣東滯在中の蔣介石氏は二十八日午前十時黃埔行營に朱培德、程潛、熊式輝、余漢謀、陳誠氏等中央軍の最高首腦者を招集前線よりの報告に基いて對策を協議した結果、左記の事項を決定した

一、李、白兩氏に對し即時軍事行動の停止を命じ若し應ぜざる際は國民政府に廣西討伐令の發令を電請すること
二、前線各軍に對し若し駐防地侵犯者ある時はその土匪たると廣西軍たるの別なく痛擊を加ふべき事を命令すること

前記決定に基き蔣氏は同日正午各路中央、廣東兩軍に正式應戰命令を發したが東路前敵總指揮陳誠並に參謀總長程潛の兩氏は一兩日中に肇慶へ出動すべく、第十八軍長羅卓英氏並に第四路軍副司令香翰屛氏は二十九日南路へ向つた

川越大使歸任
直に總領事會議出席

【上海廿九日發國通】北支視察を終へた川越大使は廿九日午前十時入港の大連丸で來滬した、同大使は上陸後直ちに目下開催中の總領事會議に出席して成都事件に關する詳細なる報告並に同事件に對する國府當局との非公式交涉經過を聽取し、今後の對策に就き重要協議を行ふ筈、同大使は船中左の如く語る

今回發生した事件に就ては靑島で聞いた、本省からの訓電を俟つて良く事情を調べた上で支那側と交涉する心算である、今回の事件は從來の邦人壓迫事件と異り事は眞に重大である、事件の蔭に國府又は黨部の反日宣傳がある樣に自分は聞いてゐる、北支の經濟開發は大いに進捗してゐる、これはこちらの問題とは關係なく今後も進められて行くものと思ふ

在支記者團決議文
四相に通達

【東京國通】成都事件に尊き犧牲者を出し直接脅威を受けた在支各地新聞通信記者團はその慘虐行爲に對し頗る憤激し二十八日帝國政府の强硬對策を要望する左の如き決議をなしたが右決議は二十九日朝廣田首相、有田外相、寺內陸相、永野海相の手許に夫々通達された

△決議

今回の成都事件に關しては帝國政府は斷乎國民政府の責任を追及し且つ將來に於る禍根の絕滅を期せられたし

又復、東寧南方に
ソ聯機關銃彈飛來

二十八日午前六時四十分東寧南方高安村南方に向け又復機關銃彈九發飛來し滿人一名負傷した、更に午前七時前後より同九時前後に亘る間該地點稍南方に對し十數發の小銃彈飛來す、斯の如く度重なるソ聯側の不法射擊は既に十數回に達し、東部國境は危險極まりなく遂に負傷者を出せる現狀に鑑み、當局では單なる通り一邊の抗議通告では濟まされざる事態に立至るやも知れない

ソ聯機越境
低空から偵察

二十八日午後三時半東部國境興凱屯(高安村南方)東側にソ聯飛行機一台不法越境し來り滿領に向ひ眞正面に浸入、同村上空五百米にて偵察を行ひ當方の射擊により後退した

江防艦隊の
事故原因判明

【駐滿海軍部發表】八月十五日木蘭上流に於て江防艦隊匪賊討伐中艦砲をもつて射擊し小澤海軍少佐以下殉職者を出せる事故の原因は其の後の調査により砲中にて彈丸の早發せるものと判明せり

楠本輔佐官上海着

【上海廿九日發國通】新任駐支大使館付陸軍武官輔佐官楠本大佐は廿九日午前十時入港の上海丸で着任し直ちに東和洋行に入つた

靑木次長
鞍山を視察

【大連國通】滿洲中の靑木對滿事務局次長は二十九日午前九時三十分發列車で鞍山へ向つた

人事往來

▲稻田篅之助氏(京城府會議員)廿九日午後ハルピンへ
▲高橋孝一氏(大連汽船社員)同大連へ
▲林七藏氏(福昌公司)同
▲山崎新太郎氏(鑛山業)同奉天へ
▲榎本周氏(商業)同來京中央ホテル
▲金光秀雄氏(東亞煙草重役)同

ヒ總統と會見
ム首相
中歐ブロック結成企圖か

【ベルリン廿八日發國通】ベルリンの外交界に於てイタリー首相ムッソリーニ氏は來る九月飛行機でベルヒスガルテンを訪問、ヒトラー總統と會見する豫定だとの噂が流布され多大の注目を惹いて居るムッソリーニ首相は一九三三年ヒトラー總統がベネチア宮に首相を訪問したのに對する答禮を兼ねて聯盟の對伊制裁實施中ドイツがイタリーに爲した好意に謝意を表する意向と言はれるが、消息通方面では獨伊兩國はスペイン內亂を機として擡頭せるボルシエビズムに拮抗するため、獨軍を中心として之にオーストリア、ハンガリー、ブルガリアの諸國を糾合し中歐ブロックの結成を企圖して居るものと解し兩國互頭會見の成行を重要視して居る

ゲ獨宣傳相
ム首相と會見

【ベネテイア廿八日發國通】確聞するにドイツ宣傳相ゲッベルス博士は廿八日ベルリンからベネテイアに到着し同地に於てムッソリーニ首相と會見した上反共產主義宣傳戰線結成に關し重要協議を遂げる筈である、反共產主義宣傳戰線の結成に關しては既に獨伊兩國並びに波蘭三國間に原則的意見の一致を見て居ると傳へられゲッベルス、ムッソリーニ兩互頭の會見に依て最後的檢討を加へた上成立を見るのではないかと見られて居る

英政府單獨で
內亂調停に乘出す
スペイン政府これを一蹴す

【ロンドン廿八日發國通】イギリス政府はスペイン內亂に對し愈よ積極的調停に乘出し既に數日前スペイン政府に對し非公式に和平交涉成立迄の暫定的試案を提出した事實ある事が判明した、右試案內容は次の如きものと言はれて居る

一、戰爭の人道化、大量虐殺の禁止、捕虜の交換
一、右實施に次いで休職宣言をなす
一、政黨と無關係で知名な且つ信望ある數名の人物を中心とし之に專門家補佐を加へ中立的な一種の獨裁政權を樹立す

以上イギリス政府の提案に對しスペイン政府は事實上叛軍を承認する立場にある事　革命勃發以來極左派の勢力が急激に浸潤し到底革命軍との妥協調停に應ずる可能性の無き事　叛軍敗退を確認して居る事等の理由に基き之を一蹴したと言はれるが、革命軍が有利となり政府軍側が潰滅の危機に瀕する樣な狀態となれば政府軍も或は妥協に應ずるのではないかと豫想される

マドリッド
戰慄の都化す
今や監獄は屠殺場

【ベルリン廿七日發國通】ベルリンの夕刊紙ナハト・アウスガーベは廿七日の紙上にマドリッド特派員發電としてマドリッド監獄の戰慄すべき恐怖狀態につき左の如く報道してゐる

マドリッド監獄は今や全く屠殺場と化し日々數百名の囚人が銃殺されてゐる有樣である、去る廿二日約千二百名の貴族に對する大量屠殺が計畫されてゐたがこの恐るべき陰謀を探知したマドリッド駐劄英國大使チルトン氏はスペイン外相アサカラ氏に對して善處方を要求した、然し廿三日開かれた特別裁判の結果七百二十名に對し死刑の宣告が下され直ちに死刑を執行された犧牲者には知名の士も多くマドリッド市を戰慄の都と化してゐる

市中全く
混亂に陷る

【セビリヤ廿九日發國通】セビリヤ革命軍放送局の放送に依れば首都マドリッドは食料不足に陷り共產主義者は右翼狩に狂奔し右翼と看做されて射殺された者は一夜に二千名を數へた事もある程で全く混亂狀態にあるといはれる、更に各軍需工場の勞働者は八時間の勞賃で一日十時間勞働を强制されて居り何時不滿の爆發をするかも知れない狀態である

北部革命軍
イルンを攻擊

【アンデー廿八日發國通】北部革命軍は廿八日夜明前から一齊に政府軍の死守する要衝イルンの猛攻擊を開始した、政府軍も直ちに應戰、大激戰を展開してゐる

偶語

悠久二千五百九十六年、金甌無缺の國體を誇る我が大日本帝國は▲あと四年にして紀元二千六百年を迎へ盛大なる祭典を擧行されることゝなつた▲內地に於ては既に各種の記念事業が着々進められてゐる▲滿洲に在る同胞に於ても大和民族の遺業として永久に記念すべき何物かを考ふべきだ▲既に識者間には私に種々の計畫が考へられてゐる模樣であるが▲さる會合席上にて私案として提示された武田胤雄氏の計畫など最も適切なるものと云へやう▲即ち同氏の私案は軍司令部西南の窪地を利用して二萬餘の大衆を容れる野外大集會場を設計▲或る時は日滿交驩場とし又或る時は外來觀光の歡迎場となる▲恰も往昔羅馬のコロシウムの如きものであつて國都百年の後までも大和民族の遺業として誇るに足る計畫である▲なほ又國防婦人會の會合に於ても、國防婦人會館の新設、護國廟植樹、國體明徵となる各種事業が記念事業としてあげられてゐる▲この問題は四年先の話である、がしかし四年位はまたゝく間だ▲われ／＼は後世に殘して恥しからぬ記念事業を頭に描き實現の準備を整へて置く必要があらう

社説

滿洲里會議の問題
善隣關係設定の條件に就て

一

大亞細亞の高地北邊に擴がり、山嶺に交叉された廣漠たる曠野を領域とする蒙古人民共和國については、一般に知らるるところ甚だ尠い。滿洲國の隣接國家でありながら現狀の如き疏遠な關係に置かれてゐることは不自然、不合理なものであるとせねばならぬ。近く開かれんとする滿洲國、外蒙間の會議に對して、それが良好な成果をあげることをわれらは希はざるを得ぬ。このやうな不自然な狀態を打開し親善關係を開拓するためには、大いに熱意ある誘導的努力をなすことが必要であらう。

二

蒙古人民共和國住民の主なる生業は遊牧である、農業は小規模に、しかも西部及び北部の少數住民の間に部分的に行はれてゐるのみである。全播種面積は約四萬ヘクターでその産額は國内需要穀物の僅か二十五％を充すに過ぎず、殘餘は悉く國外よりの輸入に俟つてゐる。住民一人當りの家畜所有數は世界第一を占めてゐるといふ。ただ粗笨な管理法、これに關聯して不可避な災害及び疫病等による損傷のためその増加率は甚だ低い。近來諸機關の助成施設によつて大いに改良されて來た。工業は近年の創始である。國内の商業は協同組合、國營貿易會社及び私營商人によつて行はれ、外國貿易は國家の獨占する所である。以上は同國の經濟について概觀したのみであるが、これらの事情すらも歪曲されたり或ひは誇張されたりして傳へられ勝ちであつた。親善のまへに、先づ理解が必要なのである。

三

昨年の滿洲里會議は、半ケ年に亙つて交渉を續けたものであつた。滿洲國側は兩國が親善關係を結ぶことを目的としたのに對して、外蒙側はハルハ廟事件だけの解決を目的としたのであつた。この交渉中に外蒙兵の不法越境事件が起つた。その後、國境紛爭整理委員會の設置同意にまで到達した。しかし外蒙側が滿洲國代表機關の常駐地點を邊境鄙陋のタムスクスームにのみ限定することを主張し中央政府所在地への代表常駐を肯んじなかつたため會議はつひに決裂したのであつた。本年に入つて、外蒙政府は混合委員會組織の用意ある旨を回答し來り爾後これに關し協議を行ふための電報交渉が重ねられて來、漸く再び滿洲里に於いて開催されることとなつたものである。今次の會議の成功不成功は、外蒙が不自然な鎖國主義を清算し眞に東亞の平和確立に協力するか否かにかかつてゐる。そのやうな先方の用意があつてはじめて國交の調整相互の諒解親善の増進が可能であらう。

新京の日東製粉
愈よ小麥粉製造開始
北滿農業に好影響及ぼさん

東京の日東製粉會社に於ては本年初頭以來滿洲製粉會社新京工場（新京住吉町）を買收し、新たに資本金百萬圓の日東製粉股份有限公司を設立し躍進途上にある滿洲製粉界に君臨すべく準備中であつたが此程工場の整備を終り「龍印」の商標を以て愈よ製品を送り出す事となつた、同工場は曾つて滿洲最大の製粉工場であり乍ら北鐵の運賃政策或は業界の不振等の爲永年休止してゐたもので、最近運賃の好轉及び關税に依る保護開始により新會社の手で復活を計畫中偶々日滿を一ブロツクとする對濠報復貿易政策が開始された折柄同社の進出はともすれば不振に陷らんとする北滿農業に好影響を及ぼし延いては滿洲國産業政策にも寄與するものがあらうと期待されてゐる

中銀株主總會に於る
田中總裁演説（下）

本行營業の概況を觀まするに、預金は通貨の安定、經濟界の伸展に伴ひ年々増加の傾向にありましたが、本期も亦相當の増加を示し、本期末殘高一億八千七百餘萬圓を前期末殘高に比べますれば三千六百餘萬圓の増加であります。更に貸出に在りては、本期末殘高は一億五千六百餘萬圓でありまして前期末に比し千四百餘萬圓を減少して居りますが、前年同期に比べますれば一千餘萬圓の増加であります。貸出が前期に比し減少しましたのは季節的關係による特産資金の回收に因るのでありまして、前年同期に比し増加しましたのは政府貸上金の増加及一般取引の増加に因るものであります。

×

國内爲替は本期中の受拂總額十一億九千五百五十一萬八千餘圓、口數百九萬四千餘口でありまして、之を前期の取扱高に比較致しますれば金額に於て一億二千八百餘萬圓、口數に於て十三萬千餘口の激増を示して居り、國内各地間の爲替取引は益々圓滑に行はれ、期を逐ふて増加の趨勢を示して居ります。

×

本行の外國爲替取組先銀行は本期末十八行百七十七店でありまして、之を前期末に比べますれば二行、二十四店の増加であります。外國爲替取引も年と共に繁忙を加へて參りまして、本期の受拂の如きも前期に比し金額に於て六割五分餘、口數に於て四割二分餘を何れも増加致して居ります。又本期中の産金買上高は百三十四萬八十餘瓦でありまして、大同二年六月産金買上法施行以來の總買上量は七百四十九萬四千餘瓦に達して居ります。

×

顧つて海外の情勢を觀まするに、年初米國に於ては農事調整法の違憲判決、軍人恩給法案の成立等に因て一時インフレーション懸念か濃厚になり、短期資金の歐洲に還流する傾向が現はれましたが、一面歐洲の政局は三月上旬獨逸のロカルノ條約破棄の宣言に次で、土耳古の海峽再武裝要求、伊エ紛爭の進展等に因りまして益々緊張を加へ、又佛國に於ける政界及び財界の不安は屢々資本の逃避を誘致して金本位の維持を危殆ならしめ、延いて他の金本位諸國の通貨も一時動搖を免れなかつたのでありますが、斯る情勢は日時の經過と共に漸次平靜に歸し、期末に於きましては歐洲諸國の財界は概ね小康を得ましたけれども尚容易に樂觀を許さないのであります。而して國際通商關係の前途には幾多の障害を控へ、世界的不況は未だ容易に打開し難いのでありまするが、英米兩國の經濟界は大體に於て好調裡に推移し恢復の跡顯著なるものがあります。亦盟邦日本は各方面共緊張裡に推移致しまして、財界は順調に推移し我國に對する投資關係の如きも極めて圓滑に進捗しつつあります。

×

惟ふに本期は農産物市價の騰貴著しく、爲に連年不況に沈淪せる農村經濟は活氣を呈し、貿易亦異常の進展を示すに至り、一般産業界も概ね順調なる推移を辿つて參りました。而して此の間滿蘇兩國間の通商貿易に關する協定成立し更に六月十日を以て盟邦日本の本邦に有する治外法權の一部撤廢に關する約も締結されて、從來日本の資本によつて經營されて居りました幾多の産業が概ね本邦の行政權下に屬することとなり飛躍的發展の機會に到達致しましたことは邦家の爲寔に欣幸とする所であります。然しながら友邦の熱誠なる援助に因り今日の隆昌を見つつある本邦の責任も亦一層重きを加ふるに至つたのでありまして、本邦産業の開發、國力の充實を期する爲めに施設すべき事項は尚甚だ多いのでありますから、朝野協戮して其の遂行を期さなければならぬのであります。而して本行は從來と雖此の精神を體し金融の疏通、通貨の調節に任じて來たのでありまするが、今後は尚一層の努力を以て本邦經濟界の進運に貢獻せんことを期して居るのであります。私は斯る重大なる時期に當り本行總裁の重任を承けたのでありまして、菲才其の任の重きを懼るるのでありますが、幸に官民一致の御協力の下に微力を盡して其の任務の遂行に邁進せんことを期して居る次第であります。

本期中に於ける本行業務成績は營業報告書に示す如くでありまして、幸に良好なる成績を擧げ得たることは誠に御同慶に存ずる所であります。

×

終に臨み前總裁榮厚氏、前副總裁山成喬六氏の辭職は本行の爲め洵に惜む所でありまして、兩氏共に大同元年本行創設以來正副總裁として難局に當り、紊亂せる幣制の統一通貨の安定其の他金融經濟の發展に貢獻せられたのでありまして、其の御功績の大なることは各位と共に深く牢記する所であります。又六月十五日を以て任期滿了退任せられました前理事鷲尾磯一、吳恩培、武安福男、劉[illegible]、五十嵐保司、劉世忠の六氏も創業以來四箇年間正副總裁を翼けて業務の伸展に盡力せられたのでありまして私は茲に各位と共に其の功勞に對し深く感謝の意を表する次第であります。

關東側紡績會社
次期操短据置に決す
關西側は大勢順應主義

【東京國通】關東側紡績會社では二十八日在京中の在華紡績同業會總務理事船津辰一郎氏より最近に於る支那情勢、特に北支問題に就き種々意見を聽取した後次期（十月より十二月）操短問題に關する意見の交換を行つたが、結局現下の綿業界の情勢よりして大體現行操短率を据置くことが妥當であるとの結論に到達、此廿九日大阪に開催の統制委員會で正式決定を見る筈である一方關西側紡績でも廿八日幹事會を開き十月以降の操短に關し意見の交換を行つた結果積極的に操短擴張乃至は据置きの態度を表明するところなく大勢順應主義で進むことを申合せた

大學、高等學校に
航空科新増設
航空技術者養成本格化す

【東京國通】航空兵力の充實と共に民間航空事業の發達助成を期する航空國策の遂行と相俟つて優秀なる航空技術者養成が喫緊の問題となつてゐるが現在航空關係の專門的技術者は東大工學部の航空學科から僅か十名内外の卒業生が送り出されるのみで到底航空工業の飛躍的發展を期し得ない憂慮すべき實狀にあり、此爲過般寺内陸相より平生文相に對し航空技術者養成機關の擴充に就き要望するところがあつた、平生文相も航空工業に携はつた經驗からその必要を痛感してゐるため全く意見一致し直ちに明年度より航空學科の大擴張を行ふ事となり現在の東大工學部航空科の施設を二倍以上に擴充すると共に大阪、九州兩帝大並に横濱、名古屋、濱松、廣島の四高工に航空學科を新設する計畫の下に豫算約四百萬圓を明年度新規要求豫算に追加計上し大藏省に要求する事になつた

日本製鐵
銑鐵建値を企圖

【東京國通】日本製鐵の七月乃至九月渡し銑鐵建値は日鐵が鑄物一圓方、製鐵二圓方値上げ、兩者共噸四十八圓五十錢建値を商工省に申請したがその反對で今日迄未解決となつて居たが遂に日鐵側が折れて從來通り鑄物四十七圓五十錢、製鐵用四十六圓五十錢と据置きに決定した、然し乍ら日鐵は十月乃至十二月渡しは原料騰貴を理由にあくまで値上げを企圖してゐるが、又復商工省との間に一揉めあるものと見られる

丁香廬漫筆（一六四）
武人淸貧論（上）

所謂昭和維新の運動は武人の政黨に關係するを嫌ふ、尤の話である、もう一歩を進めて武人干政の非を明示したら更に結構である、前議會で寺内陸相が或る程度の意思表示をされるにはされたが。

東郷元帥が八十八歳の高齡を迎へられた時米壽の祝賀宴を開いてはとの議があつた、すると元帥は武人が他人から祝賀を受ける場合は戰場で功名手柄をしたときに限る、徒に生き永ひて高齡に達したからとてそれが何の祝賀に値するか謹んで御辭退申すときつぱり斷つて了はれた。流石は東郷元帥である、八十八に成つても聊かも耄碌はして居られぬ戰場の打死をこそ本懷とすべきに徒なる長壽を耻づる意さへ見える、古人の言に『武臣不怕死文臣不愛錢。天下太平』とある、長命や金が志願なら始めから武人にならぬがよい。

×

茲數年來一方では昭和の維新の叫びが高く武人が政黨に關係してさへ[illegible]ちぬのに一方では新現象として武人の實業界入りを頻々耳にする、一體此れはどうしたことか。原來政黨其物が本質的に惡いといふ譯でもあるまいが、あの通り墮落したのは實業界との惡因緣からでは無いか、だから武人の政黨關係を責めながら其實業界入りを默認するは甚だ辻褄の合はぬ話である。

×

文臣必ずしも錢を愛せぬ、然し錢を愛せぬ且つ利を爭はぬ實業家が有つたとしたら其會社銀行は立所に破産する、天下太平どころか忽ち天下不太平になる、それで實業家諸君には餘り氣が進まぬかも知れぬが天下を不太平にせぬ爲めに精々錢を愛し利を爭ふて頂き度い。其れ程金と實業界とは大方日滿不可分以上の不可分關係にあるから苟も武人ともあらうものが斷じて足を踏入るべき處では無い、銅臭の前に鼻を掩ひ袂を拂ふて去るべきである。世の昭和維新論者乃至庶政一新論者に對する余の希望は武人の實業界入を斷然禁止して貰ひ度いといふ事である、尤も此れは自明の理で泥棒は是非捕へて監獄に送つて與れといふのと同樣建議案としては成立せぬと擊退さるゝかも知れぬ。

×

日本の會社銀行といつても大の部類に入るもの丈で數十或は數百に上るだらうし此れに中小會社銀行を入れる時は數千に達するだらうから其內で武人關係の會社銀行を數上げて見た處で九牛の一毛程の少數であつて何等問題にするに足らぬとは存ずるが、何か從前無くて近年出來た新現象の樣な氣がするので聊か問題にする次第である。又昔の武士は自己の生活が保障された許りで無く子に孫にの生活までも保障されたのであるから少し位の貧乏は我慢して日々戰術武藝を勵み其れで一生を終る事が出來たのであるが今日の御時勢は全然異ふ、子女は殖える豫備にはなる恩給丈では子女の教育費にも足らぬ、勢ひ鎧甲冑をかなぐり捨て職業戰線に立たざるを得ぬ。かゝる人々に對しては余等も亦同情を禁じ得ない、尉官級佐官級にて豫備にならられた在郷軍人は軍人としての面目を傷けぬ限り如何なる職業に從事されても構はぬ、余等の問題とするのはゼネラル級の人々である、大佐から少將になつた處で恩給が非常に增す譯もあるまいから御不自由には違ひ無いが苟もゼネラル（將軍）である以上淸貧に甘じ苦節を守つて頂き度いのである。

讀者の領分

投稿歡迎　中傷不可

或る人達に
不愉快な一男性

近頃のこの欄に實に馬鹿々々しい事が飽きもせずに毎日のるので我々新聞讀者は不愉快でたまらないこんな投稿ばかりならいつそのこと新聞社はこの欄を廢止すべきである、實に馬鹿々々しい大體「我々タイピストは…」と黄色い聲を張上げる女も女だけどそれに對して如何にもえらさうな面をして下らない文句を公衆の前に並べる男も男である。どつちも近來稀に見る馬鹿者である、「一讀者」と稱していつもえらさうなことを並べる匿名思想家よ、數萬の市內讀者があなたの投稿文を讀み澁面を作つてそこに痰を吐きすてる樣を想像して見ましたか？、あなたはよくあんな文句を並べる餘裕がありますね身が二つあつても足りない現代の世にあなたのやうに時間があり餘つてあんな駱駝しを公然とやつてゐる人間は國家の不經濟です、國外逐放といふことにしたらさぞかし國民は喜ぶことでせう、私もそれを望む一人です、あなたのあの文を見てもあなたは已に女性を論ずる資格の絶對に無いことは明らかです、とんでもない所に「ノラ奧さん」が出ましたね。

では最後に以後絶對にあなたはこの欄に投稿しないことを新聞社でもあんなものはのせないやうに日々新聞愛讀者として切望します。

滿人子弟の爲に
職業學校開放
哈市教育科の新しい企て

【ハルビン支局】滿人子弟の職業指導は刻下の急務であるが、市公署教育科に於ては當市滿人商會の連絡の上に哈爾濱職業學校が明年一月より開校する事となつた同校は日語專修科、商業科、木工科の三科に分れ收容人員合計百名在學年數二ケ年、敷地は道外廿道街にある現培高小學校を改築する筈である殊に木工科を設置せるは滿洲としては最初の企てであり此が成績如何は滿洲に於る職業教育指導上重大なる關係あるものとして各方面より頗る期待されてゐる

各國代表參集
第二回禁酒會議開催

【東京國通】第二回東洋禁酒大會は九月一日震災記念日に開催する事となつたが之に先立ち廿八日第二回禁酒會議を開催した、此會議には日本各地の府縣代表のみならず滿洲國、支那、ジャワ、インド、南洋、シャム、アフガニスタン、フイリッピンの各代表者二百名が一堂に會し東洋は本來世界禁酒の發祥地であり其の傳統を茲に復活し白人種の羈絆を脫し各民族は擧つて東洋精神發動のため東洋民族共同戰線を張り禁酒運動に邁進する事を申合せた、尚ほ各代表は二十九日廣田首相、平生文相、潮内相を訪問、禁酒運動を陳情後午後六時から軍人會館に「東洋の夕」を開催するが當日は內相、府知事、市長、滿洲國大使の祝辭あり各國代表の謝辭に次で各民族の映畫、舞踊等がある筈

朝鮮製錬の
規模擴大

【京城支局】朝鮮製錬會社は現在一日百五十噸の鑛石を漬して居るが其の工場規模即ち敷地煙突建物其他は大掛りとなつて居り規模の擴大に備へる素地を具有して居るが初めから大規模のものとする事は事業採算上に懸念ありとし最少の構成を以つて創業したが最近第一期計畫の完成と共に諸事業は漸くレールに乘つた觀あり先行の見込みも十分つく事となつたので同社重役會は漸次工場規模の擴大を行ふことゝなり近く着手する模樣である、增設は拂込み等に依らず借入金に俟つらしく然も第二期擴張に要する資金は二十萬圓以內で濟むとのことである

哈爾濱體育
豫選大會

【ハルビン支局】來る九月十二日二十三日の兩日に亙り新京に於て開催せらるゝ第五回全滿體育大會出場選手決定の哈爾濱豫選大會は九月五日六日の二日間、道裡市立體育場に於て擧行せらるゝ事となつた

種目　百米、二百米、四百米、八百米、千五百米、百十米高障碍、五千米、一萬米、砲丸投、圓盤、槍投、走高跳、棒高跳、三段跳

申込期日　八月三十一日迄（市公署教育科體育聯盟哈爾濱事務局）

鮮魚小賣相場
（百匁ニ付）（廿九日）

品名	最高	最低
活鯛	一八〇	一五〇
氷鯛	四九	三一
中タイ	…	…
連子鯛	…	…
チヌ鯛	四六	…
アマ鯛	…	…
イセエビ	九〇	四八
車エビ	一五六	一〇二
ブリ	二五	二二
ヒラス	四二	三六
マナカツオ	三四	三〇
黒鯛	…	…
マクロ	…	…
カツオ	…	…
サハラ	…	…
赤ムツ	…	…
イワシ	…	…
ニベ	一六	一三
[illegible]	一三	一二
アジ	一六	一三
メバル	二四	…
ヒラメ	二〇	九
コチ	…	…
コノシロ	一四	一一
ホーボー	…	…
ボラ	…	…
キス	…	…
サヨリ	…	…
タコ	三六	三〇
[illegible]	三	二
小エビ	…	…
カレイ	…	…
タラ	…	…
甲イカ	…	…
アワビ	七二	四九
クロナマコ	…	…
貝柱	…	…
シジミ	一二	一一
ハマグリ	八	…
カキ	…	…
ウナギ	…	…
[illegible]	二五	二〇
ブリ	…	…
サヘラ	六〇	五八

全満
カフエー界の王座

松竹キネマ株式会社
新興キネマ株式会社

長春座
帝都キネマ
豊樂劇場
新京キネマ

超滿員御禮

グランド
ミス東洋

家庭

せまる九月の跫音 主婦も忙しくなる

ゆるんだ心を引締め 起直るときです

さて、一年の四分の三は完全に經つて了ひました。殘る四分の一は？一日の日がめき〳〵と短くなる、用事に追ひけられるそゝくさしてうゐるちにバタ〳〵と年は暮れてしまふ全くあとの三月は心忙しい時です。

豊　か　な　秋　色

暑さもあと半月、露つぽい朝晩の涼しい肌心地にしみ〴〵と秋の酣を知りますが、その うちお彼岸となればもう何方を向いても秋、秋一單衣物も今月一ぱいの命です。

□　□

何しろ八月中、弛んで居た心の綴を九月の蹕をきくと共にグット締直して、これからの多忙の生活に備へる事が第一の仕事でなければなりません

ど風流韻事の催しに一入興盡きぬ事でせう。この名月に秋の七草を折りそへて、芋名月の名の様に新里芋、さつま芋柿、栗、梨、技豆をお團子に添へて供へるなどは栄しい行事の一つです。

一日は二百十日

つまり立春から數へて二百十日目に當るこの日を危日として農家の憂ふる日です。幸ひに嵐の災厄を免れるやう八朔の祝ひなどして祈りますがこの日の前後二百二十日までは妙に荒れ氣味の天候があつたりして脅やかされるのは農家ばかりでなく、一般家庭でも天候に豫め備へて、家の周圍を警戒しておくべきです。

八日は陰暦で云ふ白露

これは白露の下りる季節で太陽は北緯六度十九分にあります。

九日は重陽の節句

で雛祭、端午及び七夕と共に節句とよび滿洲支那では今だに家庭の行事として盛んに祝ひます。日本でも今漸次復興の勢ひにあります、十一日二百廿日。

二十日は彼岸の入り

暑さもこゝまで來れば上りです。この日から七日間六阿彌陀詣。想ひ出す去年のこの日は關西の大風水害でいたく私共の胸は打たれたのでした。

二十三日は秋季皇靈祭

同時に彼岸の中日であり、この日は春分と同じく赤道と黄道の交叉した地點を太陽が直射する秋分であつて晝夜平分の日です。廿八日は各地不動尊の開帳と秋祭に賑はふ時であります。

三十日は中秋の名月

詩歌の會、音樂、謡曲の會な

兒◦童◦作◦品◦集 ＝室町小學校四年女子＝

ゆうがく城

山崎チカ子

「りーん」と汽車の出るあひづのりんがなつた、私のむねはうれしさで、一ぱいであつた。その時「がたん」と、動き出した。はつとしたそれから一つのえきについた。ゆうがく城が、ここのえきだとよいのになあと思ひながらと〳〵とねむり始めた。

「ちかちやん、ゆうがく城につきましたよよくねたわね」と、おつしやつた。

私は、ゆうがく城に、ついたと聞いて、とび上つてよろこんだ。すいとうをかたにかけて、にもつを持つておりた。ゆうがく城でおりた人は皆なにこ〳〵している。

「ちか子は、今日は、うれしそうだなあ。」

と、兄さんがおつしやつた私は、

「それは、そうよ、ゆうがく城でおよぐのだれだつて、うれしいわ、兄さん、うれしくなかつたらかえんなさい」と言つたのでみんな大笑しました。いよ〳〵おんせんにつきました。みずぎをきて、ぼうしをかぶつて、おんせんにはいりました。私はまだ犬かきしかできません。どうかしてちがうのをおよげるやうにならうと思ふ心で一ぱいであつた。空はからりと晴れて鳥でさえもうれしそうです。

「ばちや〳〵。」と、足をうごかしておよいでいると、ちかちやん。」と、いふ聲にびつくりして、ふりむくと、文ちやんがいました。「あら。」といつて、急いで文ちやんの方へかけてゆきました。

「川へ行こう。」と文子さんが、いつたので川へ行きました。少し川で遊んでいると文ちやんが、だしぬけに「きたない。」といつたのでびつくりしました。

「どうしたの。」といつてたら、私の前にばふんが、三つういてきました。「きたない。」と、私は我を忘れてさけびました。文ちやんが、一生けんめいで逃げやうとしましたばふんは、文ちやんの後についてきます。文ちやんはへたばつて、

「まいつた。」といつてころびました。ばふんは向の方へずん〳〵いつてしまひました。「あゝよかつた」と文ちやんは、ためいきをつきましたので「ほんとに、川はきたないね。おんせんへゆこう。」と文ちやんがいひました。私もおよぎたかつたのですがおなかがすいているので、一御はんをたべておよごう。」といひました。「さうしやうね。」と、いひながら、歩きよ

利尿に特効ある トウモロコシの毛（雌蘂） 産前産後の榮養食品にもよい

とうもろこしが季節の食品として只今出盛つてゐます、これを火にあぶつて食べる味は一種特別で、また野趣のあるものですが、生のとうもろこしには近ごろ流行のビタミン各種が

（含有）……してゐるほか脂肪、澱粉質、有機性のリン化合物體、其他色々の食用價値に富んでゐるので、子供は勿論婦人の産前産後の榮養食品として非常に價値がありますが、食用以外には酒釀にも供されてゐます。

とうもろこしは左様に食用價値をもつてゐるだけでなく、毛の雌蘂頭は俗に南蠻毛といつて腎臓炎、膀胱カタル、むくみなどの

（疾患）……に利尿劑としてその藥効をうたはれ、現在アメリカの藥局方や日本藥學會の準藥局方に收載されてありわが國でも收載して用ひられてゐる程で、利尿劑としての効力は他の同じ用途のものに比べて優秀さを示してゐる

お料理獻立

鷄肉あらい「霜ふり鳥」

これは霜ふり鳥と申します通り、うすく切つた鷄肉をさつと熱湯に通しましてすぐ又鯉などのあらひのやうにつめたい水に通し氷の上にでものせて他のお野菜と共にわさびおろしとお醤油で召し上るとサッパリとしたものです。

【材料】（五人前）

- 鳥手羽　二枚
- うど　半本
- きうり　細いもの二本
- トマト　一ケ
- 山葵、醤油、適宜

鷄肉は薄切としてサット湯に通しすぐ水に通し器に氷をのせた上に盛りうどせん切、きうり薄切、トマトをあしらひ山葵おろしと醤油を添へてすゝめます。

大豆の日記

森崎イツ子

と、ちやうどおねえさんが「ちかちやん、ごはんよ」と言ひました。「グットバイ。」といつてわかれました。ひるのごはんをおいしくいただきました。

七月十六日　木曜日　晴

八日に大豆の種を十だけ水につけておいたら、今日は、始めよりもずつと大きくなつて居た。

七月十八日　土曜日　晴

九日目の今日は、かはいらしいそうめんのやうな芽がわづかに出て居た。もう、植ゑかへていゝだらうと、お母さんがおつしやつたので、箱がほどよくないので、小さな植木鉢に植ゑかへた。

七月廿日　月曜日　晴今朝、起きて見たら、六本は鶯くほどのびて居た。豆が二つにわれて、眞中に小さな〳〵葉が出て居て、外のうす皮がもうすつかり取れたのもあり取れかゝつたのもある。一本はどうしたのか、根が上を向いて出て居る。おしまひには、一體どうなるでせう。ずつとおくれて、一本、又、かはいゝ芽が土を押し上げて半分ばかり頭を出した。

七月廿二日　水曜日　晴

今日は、もうびつくりするやうにたけがのびて、二つにわれた中から本葉が出て來た。一番長いのは、五糎以上もあるので、日かげにばかりおいてあるので、ひよろ〳〵して居る

七月廿五日　土曜日　晴

後雨さかさに出て居たのは、とう〳〵かれてしまつた。みんな、もうすつかり本葉が出て居た。

子供の夜廻

河津仲子

「カチ〳〵カチ〳〵カチ。」と、靜かな外の方から、さびしさうに、夜廻の、ひやうしをたゝく音がした。「まだ早いのに。」と思ひながら、時計を見たら六時五十分をさしていた。いつも、夜廻は、八時半頃廻つてくるのだ。ふしぎでたまらないので、どうしたのかと思つて、考えていると又、「カチ〳〵カチ〳〵カチ〳〵」となつた。といつしよに「かーらすーなぜなくのー からすは山の十。」といふ唄がこちらに聞えた夜廻は滿人である。日本語で、唄ふはずがない。いよ〳〵ふしぎだよく考て見たらやつとわかつた加藤さんや千葉さん達のいたずらにちがいない。外に出て見た。明るい月夜だ。見るとやはり千葉さん達だすました顔で、いつたり來たりしている顔のおかしさ。お星がいくつも出ている空をゝからすが、「カアノ〳〵カアノ〳〵。」とさびしさうに空をとんでむかふの方へいつた。子供の夜廻は、まだ廻つている。

つめたい夜風が、私のほゝをなでて子供の夜廻の方へふいていつた。

兄さんのおかへり

花輪美穂

七月二十七日の朝おかあさんが「今日史郎ちやんがかへるんだよ。」とおつしやつたので、早くから停車場に行つて五時半の汽車をまちかまへていた、それからお友達の長谷川さんやそのほかの友達もおむかへに來て下さつた。やがて汽車がホームにすべるやうに入つてきました。私たちは一生けんめいでさがしたが見えない、しかたがないので汽車の中に入ると、史郎ちやんは今おりるところであつた。史郎ちやんとよびかけると、おもたさうなリックサックをしよつてゐた「むかへにきてくれたのかありがたう」と、おつしやつた。史郎ちやんもうれしいのか涙ぐんでゐた。お母さんはげんきさうな史郎ちやんを見て安心していらつしやいました。すつかり丈夫になつて、身體も大きく見えます弟の秀穗はおみやげがむちうであつた。「アジヤ」はといつて史郎ちやんにさいそくしてゐた。私もおみやげがたのしみであつた。家にかへつて二人でせいくらべをしたら、やつぱり史郎ちやんの方がすこしたかかつた。夜はみんなうれしいのでなか〳〵ねむれないお話が次から次とつきなかつた。

けふの番組

（M・T・G・Y 新京放送局） 三十日（日曜日）

寫眞上より（右）扇芳亭笑香、笑丸、清元延寅子、扇芳亭一光さん

朝

- 六・〇〇 建國體操 ラヂオ體操（大連）
- 六・二〇 操（東京）
- 七・二〇 氣象通報（大連）
- 朝の音樂
- 八・三〇 子供の時間（東京） うたのおけいこ 子供のテキスト八月號特選童謠 一、キャンプの朝 堀田信孝作詞 藤井清水作曲 二、物蜂さん 瀧川文子作詞林 秋木作曲
- 九・〇〇 日曜勤行（東京） ―世田ヶ谷九品淨土宗淨眞寺より中繼― 一、法要 二、法話 貫主 清水觀碩 導師 外一山大衆 清水觀碩（東京）
- 九・四〇 趣味講演 森の石松に就て 子爵 小笠原長生
- 一〇・一〇 子供の時間（滿語） 奉天市立工業區兩級小學校 指揮者 劉惠卿 一、講、故事 戒 情 二、唱 歌 一夏 夜 外五曲 三、口琴 二、沙漠曲 外二曲
- 一〇・四〇 清唱（哈爾濱）
- 一〇・五九 時報（東京）

晝

- 一一・〇〇 野球試合實況―新京西公園野球場より中繼―建國記念大滿洲 帝國野球大會（雨天順延）
- 一一・三〇 ニュース（東京）
- 一一・五〇 講演（大連）
- 一・一〇 浪花節劇（東京） 淺太節淚の月影 中村芝歌次 外
- 五・〇〇 子供の時間―大阪桃谷演奏所より中繼― 節 浪花亭小樂 夏休み玉手箱
- 〇・二〇 新日本音樂（東京） 噴水塔 中島雅樂之都 外二曲
- 〇・五〇 芝居ばやし（東京） 宮嶋繪巻（上） 杵屋榮一 江戸のまつり（下） 芳村伊久四郎 望月太左衛門 外
- 一一・三〇 ―全日滿中繼― 輕金屬工業と滿洲 旅順工科大學教授 工業博士 大日向一司
- 二・五〇 經濟市況（東京）
- 三・〇〇 ニュース
- 引續き 競馬實況（滿語） ―新京賽馬場より中繼―

夜

- 六・〇〇 ニュース（東京、新京）
- 六・二〇 今晩の番組、氣象通報、明日の番組
- 六・三〇 日曜特輯、ニュース 演藝（大阪）
- 七・〇〇 清元 道行思案餘（おはん） 淨瑠璃 扇芳亭笑香 同 同 笑丸 三味線 清元延寅子 上調子 扇芳亭一光
- 七・二〇 地唄（東京） 一、繁太夫節 千鳥 唄・三絃 富崎春昇 二、たぬき 唄・三絃 富崎春昇 同 富崎美喜子
- 七・四五 ラヂオドラマ（東京） 後の月 岡鬼太郎・作 時 德川末期 處 隅田川の流に浮ぶ船の中 配役 川越屋與七 喜多村緑郎 お藤の娘分お福 市川紅梅 外
- 八・三〇 時報・ニュース（東京）
- 八・四〇 ニュース 氣象通報、番組豫告（滿語）
- 九・〇〇 舊劇捜狐救狐 協和國劇社名票（鮮語）
- 九・四〇 講演（鮮語）
- 一〇・〇〇 北滿の時間（哈爾濱）
- ◎備考 野球なき場合は左を追加す

清◦元 道行思案餘（お半） ＝後七時・新京＝

淨瑠璃…扇芳亭笑香 〃 〃 笑丸 三味線…清元延寅子 上調子…扇芳亭一光

清元道行思案餘（おはん）三重ガーリ 合『浮名を流す川水も 合『柱にあらぬ綾瀬川合『月も朧に春の夜の夢ばかりなる手枕を、結ぶ帶屋の長右衛門合『お半を背に合『逢瀨さへ、今身に辛き仇事の合『返らぬ道と一筋に、なんの逢合瀬しの森過ぎて 合『名殘は盡きぬ中の郷吾妻橋を後になし 合『背を下ろせば流石にも 合『姿つくらふ振袖に 合『風の含みてほらほらと 合『空に雨持つ鐘の音も九つこゝに北東隅田に手綱の 合『火影さへ 合『翌待ため身の何かせん長命寺とも頼まれぬ、世は牛島の浮世ぞと、儚きことを嘆つにぞクドキ 合『ほんに思へば昨日今日合『まだ三味線の手解きも合『お前に習ひそれからが合『御師匠さんへ生田流合『琴を豐後の文句にも 合『みんな女子は一生に、男と言ふは唯一人合『二人と肌を觸れるのは、どんな 合『本にもない年々の 合『草双紙にもない事を、よう見て聞いて惡戯なカン 合『顔にも咲きし初花は、杉田の梅の香も知らぬあの石部屋で 合『丁度マア合『その江の島へ雪の下合『堅いお前に合宿も 合『辨天様の引合せ合『それから後の夢見草中略 合『お半は何んと 合『泣いじやくり合『袖に涙を持ち添へて 合『顔打ち眺め合『長右衛門さん合『なんぼ年が行かぬと思うてからに 合『お前ばかり死なしやんしてこちや 合『赤兒籠んで存命へて合『居なりやうかいなコレ申し、ソリヤ 合『可愛いのぢやない憎いのぢや 合『小さい時から千心に合『長右衛門さんは贔屓ぢやと 合『言へばぢらして惡う言はぬ 合『笑はれる程いと言ふ 合『そんなお人にや物しいの、念が通つて一度でも合『縁を結ぶの神さんが、龜相であろとかまやせぬ合『一緒に殺して下さんせ 合『これいなこれと取り付いて膝に涙の漏れまさる中略詞『お半覺悟しや 合『見付られじと手を取つて、亂るゝ雨の絲柳合『帶の綾瀨の川浪に、二人が名をや立ちぬらん。

文藝

幻想曲（四）

一幕　石川良滋

外では月が輝き始めたのか木々を照し出して晝の様に明るい。

やがてサーベルの音がする三人壓しづまる様な沈默。巡査が窓から覗く。

巡査　もし／＼。門が閉いてるがね。物騒ぢやから閉めたらどうかね。

作曲家　ヘア

巡査　もう夜中ぢや。早く寢んといかん。

男　（思ひ切つた樣に傍に寄つて行つて）今晩は。晩くまで濟みませんが、泥棒が來たつて此處は何も盗るものなんかありませんよだいいち、此の邊には泥棒なんかゐやしませんからね

巡査　アヽ……。その積りならいゝけれど。

巡査去る。三人は顔を見合して聲高に笑ふ。

作曲家　サア、隨分愉快になつた。この勢ひで作曲が出來そうだぞ。（とピアノに對ふ。）

妻　（又萎れる樣にして）貴郎、是非完成してよ。

作曲家　よし來た。月はかすみて、木々は揺れ……。よし來た。

男　（瞳を輝かせながら）もし／＼。心配は要りませんよ。金の算段がつきましたよ。

二人　エ？

作曲家　どうします？

男　譯はないでさあ。あつしの嬶を離縁するんですよ。そしてあいつに買つてやつた色んなものを一六銀行に持つて行く／＼んですよ。

作曲家　何ですつて？そりや……あんた、いけない、いけませんよ。

妻　そんな事をなさつたら奥さんが可愛そうだわ。

男　何ですあんな嬶アなんか。あんな女なんか何處でも轉がつてゐますさあ。俺に泥棒なぞ奨めやがつて、危ふく別荘に行く所だつた。私はもうあいつと一日でも暮す事は出來ません。（涙を落して）だから離縁します。

作曲家　そうですか（感慨無量）それでいいんですか。

男　いゝんですとも。ぢや……おそくまで飛んだお邪魔しました。今夜歸つてすぐ仕事に取り掛ります。明日の朝金は持つて來ますから……。どうもお邪魔しました。奥さん、おそくまで有難う御座ゐました。お休みなさい。（と云つて行きかける）

妻　（ぼんやり眺めてゐたが、夫に向つて）あなたいゝの？

作曲家　（決心したもの〃様に）まあ、いゝだらう。あなた、氣をつけてお出でなさいよ。御親切は忘れませんよ（男に呼びかける）

男臺所から去る。窓の方に廻つてくる。

男　（天を仰ぎながら）……「月天心貧しき町を通りけり」か。且那いゝですよ。

作曲家　（窓に倚つて）ア、本當にいゝ月ですね。こんな晩には泥棒も出ないでせう。ぢや、左樣なら。

男　さようなら。お休みなさい。

男去る。

作曲家　（思ひ出した樣に後から呼びかける）これで私の曲も出來そうです。明晩又お出でなさい。飲みませう。

男　（遠くの方で）有難う御座居ます。

跫音だん／＼遠のく。

作曲家　（戻つて來て）ヤレ／＼。今夜は何といふ妙な晩だらう全で幻想曲を聞いた樣だ。

妻　本當に。（だがやはり心配そうに）本當にあの人は大丈夫かしら。私何だか心配だわ。

作曲家　ナーニ。大丈夫だ。そんな女なんか早く離縁した方が蟲が着かずにいゝ。

妻　然し、後が困ると思ふわ。又いゝ女を見つけ出すかしら。

作曲家　あんな感激家の事だからすぐ見つけちやうよ。何ならお前、あの男の奥さんになつたらどうだい。

妻　マア、いやな人。……でもあの泥棒さん、本當に氣の弱い人ね。泣き出しちやつたわ。

作曲家　ウム。あんな泥棒なら泥棒の大將にしてもいゝ。

妻　（クスクス笑ふ）

作曲家　さあ、幻想曲を聞いたついでに、俺の幻想曲も完成しようかな。是非、今夜中にやつゝけるぞ。……あゝお前、疲れただらうから先にお休み。

妻　（立ちかけて）ぢやそうさせて戴くわ。是非完成してね。

作曲家　ア、、いゝとも。明日金がは入ると極つちや俺も元氣が出たから、忽ち無我の境に入つてやつつけるよ。時に五十圓入つたらどうする？十五圓のポータブルでも買ふか。それとも、奈良方面へ新婚旅行のまき直しでもやらうか。ねえ、おくさん。

妻　マア、いやな人！

妻靜かに去る。後には獨り作曲家がピアノの鍵を彈いてゐる。夜半過ぎ。窓は開けつ放しである。月は天心に在つて皎々と冴えて居る。時折木々の揺れ葉が音を立てて——

——靜かに幕——

初秋隨筆

佐藤はるみ

をりふしにうつり變ることそものごとにあはれなれ、忍びよる秋の足並は昨日の戀人の如くいとも靜やかなる感じで訪れて來ました。花をしとねの夢おもしろき虫の音すら聞くすべも無くましてや草葉のまに宿る露を眞珠と見する星の光りすら我がせまき庭に求め得ぬ都會病患者にも餘日もの〃虫籠る秋の訪れを知り明日しれぬキリギリスの爲にキウリの露を絞るげに秋はもの悲しきものとかや味覺の秋、藝術の秋、讀書の秋、體育の秋 海の幸に、山の幸實れる一房の葡萄にすら露たるゝ葡萄棚の下の乙女を連想さする美術家は髯をのばして殘暑去りやらぬアトリエに終日閉込つて懸命にブラシを働かしてゐる事でせう、軈て來る豪華なる美術の殿堂の扉開かるゝ日の爲に、陸上日本水上日本はベルリン子にすらハチマキ、ガンバレを激へた伸る四肢にラジオ體操の號令は勇ましく朝まだきのしづまを破るげに體育の秋なるかな原パの野菊の紫をなつかしみオニアザミを手折りて持歸りしにハンカチに草のみどりの沁みたるも皆初秋の思ひ出。幼き日母の炊きたる栗飯の椀をかゝへ小菊の一輪切さしたる冷酒の銚子もて菊の節句を敎へた亡き母を想ひ出す。仲秋名月の夜萩、すゞき等手折りて月より團子を狙たるに、春の朝霞に明けて花に寢し想ひより秋はいとど淋しきものかな。

爆撃機

尾崎落寞

—「情欲」讀後感—

尾崎士郎の「情欲」を讀んだ。（中央公論九月號）「何かもやもやしたまゝで胸の底に欝結してゐたものがやうやく正體をあらはしてきたのである。小説家の伊吹一作はあたらしい不安の中に泳ぎ出さうとする肉體の疼きをかんじながら……………」このやうな書き出しではじまつてゐるこの小説は、百十枚の力篇と言はれてゐる。皮膚のもう一つ奥をまで描き出さうとするやうな尾崎の文章と、扱はれてゐる題材のためにおしまひまで讀み了らせるものを持つてはゐる。「あなたか高揚した聲で高いと叫んでゐて下さればウラも高いと信じ、そのやうな觀念によつて自分を生きぬいてゆくでせう。……しかしおかげさまでウラにはウラの信念ができあがつたの」酒場にゐたりしてそれでそんな手紙を書く女が相手であるからでもあらう。伊吹といふありふれた四十男と、このいささか特異な二十八歳の女との交情、それを追究してゐる尾崎のこの作品は、彼のひと頃の郊外小話からするとかなり、違つた世界に出て來てゐる。がこれも欝結したやうな、今の御時世の下での風俗圖繪といふ以上に深い感銘は與へ得ぬ。持つて廻つた表現の底に低調なものが凝結してゐるといふほかはない。そして殘る落寞とした餘情—それが尾崎の狹い良さではあらう。（騒人）

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△正金週報（八月十四日號）八月第二週の記錄に「一九三五年度米國國際收支と外國資本在高」「本邦對外貿易國別割合表」を掲載（東京市日本橋區本石町一ノ六横濱正金銀行調査課）

△實業之世界（九月號）三宅雄二郎「力の活用と現代人」小林一三「五十億財源論」御手洗辰雄「南大將の全貌」諸氏執筆の「私に力を與へたものは何か」「澁澤榮一翁を偲ぶ座談會」ほか經濟關係の資料を豐富に載せてゐる（東京市芝區芝公園五號地一〇ノ三、實業之世界社、三十錢）

△懸賞界（九月號）新居格「懸賞の意義と種類」三輪健太郎「作法・鑑賞・批評」松波治郎「捷利へのこの道」渡邊順三「短歌の批評と添削」等を主要記事とし各種懸賞募集についてのニュースを滿載（東京市小石川區林町四一、櫻華社出版部、二十錢）

官場現形記（143）

李寶嘉作　大内隆雄譯

‖第十二回の十一‖

胡統領と龍珠の交情は並々ならぬものがあつた。縣のお偉方は、胡の心境を突きとめてゐたので、最初からこの船を胡が乘船するやうに定めたのであつた。胡統領は船に乘つてから、茶を飲むにも湯をつかふにも悉く龍珠にサアヴィスさせた。龍珠がたまたま用事があると、鳳珠が代つてやつた。鳳珠も十六歳になつてゐた。胡統領には早くから隴を得て蜀を望む氣持があつたのである。ゆるゆると一矢以て兩の鳥を得やうとする手段を伸ばさうと考へてゐた。そのため姉妹二人が彼の胸中の人間になつてゐて、睡眠時間以外はいつも一人が眼の前に眼いて居らねばならなかつたのである。

いま彼は目を覺まして見ると、その姉妹の姿が見えない二た聲ほど呼んだが、返事をする者もない。一人で起き上り、暫らく腰を卸してゐた。更に手を背にしてぶらぶら歩いた、やりきれない氣持だつた耳をそばだてて聽くと遠くから拳を打つ聲が聞えるなほも聽いてゐると、大きな聲で京調を唱つてゐる、唱つてゐるのは「烏龍院」である「我れ汝の爲めに烏龍院を建てたり、我れ汝の爲めに多くの銀をつかへり」といふ所まで唱つたのだが、一寸誰の聲なのか判別がつかない。更に聞き耳を立ててゐると、忽ち一陣の笑聲がした。それは別人ならぬ龍珠であつた。胡統領は一體誰がそこで唱つてゐるのかと腹中が孤疑でいつぱいだつた。船の方では「手を擧げ拳を握り汝を打たんとす」といふ所まで唱つた。それを唱ひ終るとみんなは一齊に喝采した。その時にはつきり、中に混つてゐる趙不了の聲がしたのであつた。

胡統領は、いま大聲で唱つたのは別人ではなく、文だといふ事を知つた。さうすると脚底から思はず、憤りがこみ上げて來て耳まで眞つ赤になつてしまつた。彼は卓の上にあつた茶碗をガタンと投げた茶碗は地面で粉碎した。又暫らく待つてゐたが、誰もやつて來ない。元來この大きな船の連中は、親方から乘組員たち、それに胡のボーイどもまでが、別の騒ぎをやつてゐる船の方に見物に出掛けてゐてそこには一人も殘つてゐなかつた。

胡統領は今や大いに雷霆の如く憤り、それを押へつける何ものも無かつた。傍にあつた一つの椅子を取り、窓から覗いて見た。それを隣の船の者が聞き付けた。見ると、統領が大いに怒つてゐる。これらの船ではもともとお互ひに助け合ふことになつてゐるのであつた。早速急いで文の乘つてゐる船に報せた。それを聞いてみんなはびつくりしてしまつた。

趙は平常から主人を畏ること虎の如しであつた。この消息を聽くや、慌てゝテーブルを片付けさせやうとした。ところが文は酒を飲み過ごしてゐた。

「おれはあの男から制壓は受けん。向ふは統領として遊んで居るのだ、おれたち隨員が遊んでならんといふ法は無いぢやないか！」

さう言ひながら兩の手を伸して龍珠姉妹の衣裳を取つて放さないのであつた。やがて龍珠が色々愛想を言ひ、鳳珠を殘すやうにしたので彼はやつと手を放した。

（つゞく）

進展する都市計畫（七）

委員會の制度と市街地建築物法

＝滿洲都邑計畫法の一特色＝

傳ふるところによると、新たに公布さるべき滿洲國の都邑計畫法は、これが運用の中樞機關として、都市計畫委員會を、中央ならびに地方に設置し、中央委員會には民政部大臣が會長となり、實業部、財政部、交通部、國道局、鐵路總局等から各關係者が委員として任命されるはずであるといふ。これは日本內地の都市計畫の制度と同樣であつて元來都市計畫そのものが、都市の機能のあらゆる方面を考慮して、決定せなければならぬものであり、また特殊なる科學的研究を要する事項があるがために、專門家の意見を徴すべき必要もあるので、衆智を集めたる都市計畫委員會の議を經て、すべてを決することが適當であるとする建前をとつてをるのである。そうしてその委員が關係各廳高等官、各種議員、市長市吏員、學識經驗ある者等々から選任せられるのも當然である。

×　×

日本における中央地方都市計畫委員會に關する萬般のことは、別に委員會官制があつて、それを規定してをるが、委員會を通じこの權限が調査審議をなし、關係各大臣の諮問に應じ、かつ各大臣に建議し、關係地方官衙に對して調査命令及び檢査をなし得ること等々であり、專ら地方に關する事項は地方委員會の權限に屬し、その他の事項は中央委員會の權限に屬せしめてをる。なほ地方委員會の議決を經た事項にして、內務大臣が更に審議の必要ありと認むるものについては、これを中央委員會の議に付し、その議決をもつて、都市計畫委員會の議決と看做すといふ段取りになつてをるが、滿洲國における都市計畫委員會に、けだし大體において、この方針に準據するものであらう。

×　×

また滿洲國都邑計畫法は、約四十箇條の條文から成つてをり、內容は極めて廣範圍にわたつてをるが、日本內地では市街地建築物法が、都市計畫法とは別個に存在してゐるが、滿洲國では市街地建築物法規を、別個の單行法規とせず、これを都邑計畫法中に抱擁せしめてゐることが、その一特色をなしてをるといふことである。

いふまでもなく市街地建築物法は、都市計畫と不可分の關係を有してをり、ことに地域制を實施して建築物の制限を行ふごときは、もつぱら市街地建築物法の效力作用である。從つてそれを別個の單行法たらしめず、都市計畫法中に包含せしめて規定することも妥當といへやう。なほ都邑計畫法の發布に伴ふて、同施行法も公布されることとなつてをるといふが、これらの完全なる關係法規が、整備して計畫ならびに事業の效果的なる遂行に、最も都合よき環境が展開された曉においては、全滿の都市計畫は、その躍進に、一層の拍車を加へるであらうことが期待される。（水口生）

想起す！九・一八

吉・齊兩都逸早く記念行事決定

時局に鑑み大々的擧行せん

◇吉林◇

【吉林國通】來る九月十八日は滿洲事變勃發五周年記念日に當り吉林市に於ても當時の記憶を新にし、邦家現在の非常時局に鑑み一般軍官民をしてその實務の重大なるを痛感せしめ深く反省自覺を促す可く慰靈祭その他各種行事を大々的に擧行する事になつたが、右記念行事を圓滑ならしめるべく二十八日森岡機關長を中心に第一回記念行事指導委員會を開催、行事及び指導要領に就き大體決定を見た

即ち當日は各戶に國旗を掲揚し午後はサイレン、汽笛を鳴らして記憶を呼び醒し又左の行事を擧行する

一、慰靈祭　吉林神社に於て徐市長を委員長に事變以來護國の鬼と化した勇士の靈を慰む

一、武術大會　士氣を鼓舞し剛健の精神を養ふ爲め憲兵隊道場に於て武術大會を開催する

一、映畫會開催

一、旗行列街頭デモ擧行

◇チチハル◇

【チチハル國通】チチハルでは九月十七、十八の兩日を慰ぶ催しとして壯烈な防空演習を擧行する事に決定、二十七日市公署に各關係者出席演習計畫の細目に就き種々打合せを遂げた、來月早々から各日滿官衙、學校生徒市民に防空思想の宣傳を開始、演習當日は午前九時から當地防護團員總動員の下に實戰さながらの演習を擧行、引續き同日夜は二回に亘り燈火管制を行ひ十八日午前八時を以て終了の筈

牡丹江鐵路局は九月中旬開設

【奉天國通】建築を急いで居る牡丹江鐵路局廳舍は遲くも九月上旬竣工する事となつたので、鐵路總局では鐵道機構改革實施とは別個に九月十九日頃より開設すべく準備を進めて居る、鐵路局幹部級の人選は機構改革に伴ふ全般的人事異動と關聯するもので正式決定は多少遲れる模樣であるが取敢へず九月一日より開設準備の爲一部局員を配置する事となつて居る

尚同鐵路に配置される人員は日本人四百名、滿人五百名、計九百名で主として滿鐵々道部よりの轉出者が當てられる筈である

朝鮮の水稻作柄增收豫想

【京城支局】總督府農林局では八月十五日現在で各道に亘り水稻作況を調査せしめてゐたが、此の程漸く調査を完了し廿七日發表したそれに依ると七月末から八月中旬にかけて南鮮方面は數次の豪雨で相

熱病の發生ありたるも局部を除き被害は大した事なく各道別を見ると京畿道、忠北、平南が稍不良で他は普通で、平北、咸南、咸北は却つて昨年より良好で今までのところでは概して全鮮的に悲觀の要なく寧ろ米作は確實なる生產調査と相俟つて幾分增收を見るものと豫想されてゐる

奉天、商埠地土地整理に委員會設置

【奉天國通】奉天市公署では過般來商埠地空地並に租權の整理に就き鋭意努力を續けて居るが目下建築を出願中のものにして土地整理の根本方針確立まで留保して居るもの二百餘件に達し一方市に回收せらるゝ租權者にして異議を申立てるもの相當あるのでこれに對する處置を急速に決定する必要に迫られ今回市公署內に土地審查委員會なるものを設置目下商埠地土地整理に積極的に乘出す事となつた

"現地に即應した政治方針で"

三谷新任吉林總務廳長語る

【吉林國通】新吉林省總務廳長三谷清氏は廿八日午前十時十一分吉林省京圖線列車にて着任したが省公署職員その他日滿官民多數の歡迎を受けて着任したが同日省公署に於て行はれた在吉記者團との會見に於て左の如く語つた

山紫水明の吉林へ來る事には非常に樂しみをもつて來ました、奉天は昭和二年から今日まで約十年間居りましたが吉林は以前二回程旅行者として來たゞけで全くの處女地と言つてもよい位です

今のところ一般行政に對する抱負經綸と言ふものは全然ありません、只今後各縣の實情をよく見せて頂いて勉强させて貰ひその上で現地に即應した政治方針を確立し地方民の福祉增進に寄與したいと思ひます

今次の協和運動には眞劍な態度で協力して行きたいと考へて居ます、今迄は警務畑で育つて來ました爲め一般行政方面の仕事に就ては全くの素人で將來種々御指導を仰ぎたいと思ひます

鐵道運賃負擔力の合理的限界調査

＝北滿經調の劃期的試み＝

北滿經濟に對する鐵道運賃の經濟的役割りはあらゆる視角からみて頗る重大であり、それだけにこれをめぐる民間業者對鐵道當局間の紛擾は屢々繰り返されてきたがそれにも闘らず社會經濟的觀點に立脚したる各貨物鐵道運賃の合理的基準とくに各貨物の運賃負擔力の限界については今までなんらの綜合的調査研究なくために無用の紛擾と誤解を重ねてきたが、北滿經調ではこの點に鑑み今回この點を徹底的に調査し精確なる數字的資料を整備することとなり農業班と商工班とが共同で先づ既存の文獻的資料を整備して豫

して調査の中心點は

（一）各商品貨物の價格構成よりみたる鐵道運賃の割合並びにその合理的限界

（二）北滿各地農家の經濟的實態よりみたる鐵道運賃負擔力の合理的限界

（三）鐵道經營特に貨物輸送量よりみたる鐵道運賃の合理的基準

（四）北滿產業開發の積極的見地よりみたる鐵道運賃の合理的基準並びに構成

の四項目で北滿經調では先づ輸出貨物に關する調査よりはじめ順次全般に及ぼす方針であり、これが完成は直ちに現行運賃に變更改正を來すものではないとしても將來における鐵道運賃政策の動向決定に重大なる影響を及すとゝもに從來繰返されてきた民間對鐵道間の運賃論爭に對してもハッキリした合理的基調を與へるものとみられ滿洲における此の種の綜合的調査は今まで會つて行はれことなく文字通り最初の試みだけにその成果は各方面より大いに期待されてゐる

"內地資本の進出は大いに歡迎"

全鮮に均霑、資源開發を期す

【京城支局】朝鮮は工場法の發布なく、何等制肘を受けてゐないから內地企業家の新天地として重要視され近時鑛業に化學工業に內地企業家の進出は目覺ましきものありて、世界の寶庫といはれる半島無限の資源は着々と開發されつゝあるが、今回の總督、總監の更迭により一部では內地資本の進出を阻止又は縮減せしめるのではないかとの憶測さへあるも大野新總監は着任直後へ內地企業家の進出は大いに歡迎する從つて之が誘致にも萬全の策を講ずると明言して居り右總監の言明に依りて今後一段と內地企業の誘致に拍車をかけるものと見られるが、殊に抗日すべきは之等に處する新方策として現在企業家が我先にと制覇を爭ひ結局先行の大資本家が獨占範圍を擴大し遲れ馳せた者は既得權侵害呼ばはりにされ延いてはトラブル拔にされる傾向あるに鑑み出來得るだけ極端な獨占事業には熟慮を求め全鮮に企業の分散、均等を期するやう考慮されてゐるが　企業に對する總督總監の新方針は頗る注目されると共に資源開發は必ずや劃期的飛躍を遂げ得るものと期待されてゐる

市村部隊戰死者

【ハルビン國通】市村部隊の伽板站附近討匪における戰死者（廿八日迄に判明せるもの）左の如し

大尉　杉本勇吉（石川縣）

伍長　寺本照治

ほか兵十五名、通譯一名

尚ほ重傷者若干名は同日飛行機で衛戍病院に收容加療中である

金井間島省長着任

【延吉國通】金井新間島省長は二十八日午後六時二十九分延吉着列車で官民多數の出迎へを受けて着任、直ちにヤマトホテルに入つた

滿洲の原野に自生する藥草（四）

◇……今が絶好の採取季節

十一、イカリサウ（淫羊藿）

原植物　小檗科に屬し山地の傍路に自生する淫羊藿の根及び葉を藥用に供する

異名　仙靈皮と稱する

形態　多年生草木であつて、高さ一、二尺に達し一根から數莖を出すのが常である葉は掌狀複葉であつて小葉は九箇ある、其の形は長心臟形であつて中筋の左右は不等をなし、細鋸齒を有してゐる、花は四瓣より成つて色は紫、淡黃、白色等がある、外形は恰も碇に類似してゐる

產地　南滿に於る產地　鳳凰山、寬甸、五龍背等

應用　根部を蔭乾にして陰萎及び健忘を治する强壯劑に用ふる、又子寶のない婦人が服用すれば妊娠すると言はれる、即ち精力を補ふ特效があると稱せれて居る一回に一瓦乃至二瓦服用する

十二、イシミカハ（杠板歸）

原植物　蓼科に屬し、原野、路傍に自生する杠板歸の根である

異名　數種ある樣であるが、「ウシノヘナツラ」「アシカキ」等ある

形態　一年生の蔓草であつて逆なる刺多く能く物にかゝつて生長する、葉は互生し形三角形であつて下部楯形を呈してゐる、色は稍々帶白、長い葉柄がある、其の葉柄の本に廣い托葉があつて丁度圓い葉がついてゐる樣である、この托葉で葉を抱き圍んで居る、夏の末になつて莖の梢に短い穗狀の花がつく、色は帶白色で八個の雄蕊を有して居る、果實は球形であつて不明なる三稜をなし堅くて石の樣である、之を包んでゐる萼片は後に藍色を呈する樣になる此植物の根を採集して乾燥させたものを藥用に供してゐる、其外部は帶紫褐色であつて內部は紫褐色を呈してゐる

產地　南滿に於る產地　千金寨、鳳凰山、五龍背等

應用　解熱、解毒劑として一回一瓦乃至五グラムを用ふる又毒虫の刺傷に煎服する又蔓葉を折傷、金瘡の要藥としてゐる、骨を接ぐ事は膠の樣であるから石膠といはれてゐる

十三、ハウレンサウ（菠稜草）

原植物　藜科に屬し廣く栽培せられる菠稜草の全草である

形態　普通野菜として用ゐられるものであるから省く

產地　各地に栽培せられ滿洲にても生育良好である

應用　葉を常に副食物として食すれば自ら胃腸を健全にし且秘結を治す效がある、又他の蔬菜よりも一層補血の效があるのは鐵分を多量に含有してゐるのみならずヴィタミン中脂肪溶性A型ヴィタミン（成長要素）水溶性C型ヴィタミン（壞病豫防素）の多量を含有してゐるからである

十四、バイケイサウ（白藜蘆）

原植物　百合科に屬し山野に自生する白藜蘆（バイケイサウ）の根（根莖）を藥用にす

形態　多年生草木で高さ三四尺餘に達する、葉は大きい長卵形或は廣披針形であつて平行脈を有し互生してゐる、花は白色であつて花被より短い雄蕊を有してゐる此の植物は同樣に雄花、雌花及び兩性花を有してゐる藥用に供する、白藜蘆根は直行してゐる、倒圓錐形又は圓柱形を爲して末端は細小となつて枯死し之に多數の複根を叢けてゐる、其の外部は暗褐色內部は白色を呈し內質狀を爲し其の粉末を鼻孔に吹入すればくさめを發する、臭氣惡く味微に苦くして苛辣

產地　滿洲に於る產地　奉天省

應用　バイケイサウは毒草であるが根莖は白藜蘆根と言つて痰、催吐、峻下劑として一回〇、〇二乃至〇、一グラムを與ふ、往々喘息に用ふる事がある

又毛髮に虱の發生した際其の粉末を撒布、[illegible]其の他の昆蟲を殺滅せしむるには飯の中に其の煎汁をかけて食はせる

數種あつて、バイケイサウ及び其の根莖に滿洲に產するのは白藜蘆根（ヘクリロコン）である（未完）

全滿の視聽をこゝに　"覇業への道"ひらく！

碧空の下、沸る昂奮、湧く歡呼の嵐

建國野球　きのふ火蓋を切る

烈日の下碧空にこだまする打棒、砂を嚙む熱球、滿洲球界に一劃期を齎らした王道野球の精華とも言ふ可き第一回建國記念野球大會は日滿野球ファンを總動員して二十九日午前零時半から新京西公園球場に於て華々しく開始せられた、定刻全滿各地から參集した精鋭十二チームが滿洲國軍樂隊の奏する勇壯なるマーチに連れて堂々入場式を行へば、スタンドを埋める觀衆は萬雷の拍手を送る、かくて古海委員長の開會の辭、日滿兩國旗掲揚、阮會長の訓辭、大達總務廳長、河本滿鐵理事の祝辭等あり、大會の第一戰をうけたまはる電業、鞍山のシートノックが始まる頃より大會氣分は愈よ濃厚に戰機は刻々熟し、一時半田村審判により高らかにプレイボールを宣せらるゝや新進入亂れる大會の火蓋は愈よこゝに切つて落された

10—2

遠來の鞍山チーム　電業に大敗喫す

實力の差如何ともし得ず

第一回建國野球第一日のトップを飾る電業對鞍山製鋼所軍の試合は定刻一時半阮文教部大臣、河本滿鐵理事、星野財政部次長の朗らかな始球式後田村（球）赤木、大橋、水原（壘）四氏審判の下に電業の先攻にて開始せられたが、最初遠來の鞍山軍よく打つて電業の宮崎投手を交代せしむる程であつたが、實力の差如何ともする能はず、次第に破綻を見せ、加ふるに守備の失策多く遂に十對二といふ大差で破れた、閉戰三時二十二分

鞍	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
電（先）	1	1	1	6	0	1	0	0	0	10

試合經過

▲一回（電）高山四球、藤田三餉その間高山三進、小池捕邪飛、杉谷打者の時投手暴投により高山生還（電—1、鞍—0）三者凡退▲二回（電）梅本四球、宮崎左前テキサスに出で吉井三振、山本四球（鞍山投手交代中矢投手となる）三輪四球を得たれど高山遊飛、藤田三餉にチャンスを逸す、（鞍）中矢右中間二壘打を放ち平林三壘強襲安打、伊藤中前タイムリーヒットに中矢勇躍生還一點を返す、北原三振、北井中飛、牟田左飛（電—1、鞍山—1）▲三回（電）小池二飛、杉谷三壘強襲安打三壘手暴投し二進、三進、梅本三餉失に生き、三、宮崎三振、吉井遊餉一壘手落球しその間杉谷生還、山本右飛（鞍）兒玉、石橋共に三餉、劍持中前安打、中矢の右飛右翼手落球して三壘打となり劍持生還、平林遊餉（電—1、鞍—1）▲四回（電）三輪遊餉、高山四球、藤田遊撃强襲安打、小池一、二間安打、杉谷四球に高山押し出しの一點、續く梅本右前安打に藤田、小池生還、宮崎中前安打に杉谷、梅本生還、吉井三邪飛、山本二餉一壘手落球して宮崎生還、三輪中飛（鞍）伊藤二飛、北原遊飛、北井中前安打、牟田二遊間安打兒玉投餉（電—6鞍—0）

▲五回（電）三者凡退（鞍）（此の回電業吉井投手、藤田捕手宮崎一壘山田右翼）石橋、劍持共に中飛、中矢三振（兩軍0）▲六回（電）杉谷中前安打、梅本右前安打、宮崎四球、山本遊餉に宮崎封殺、杉谷生還（鞍）平林投手安打、伊藤遊飛、北原三振、平林牽制球にかゝり一、二間に狹殺さる（電—1 鞍—0）▲七回（兩軍）三者凡退▲八回（電）杉谷三遊間安打梅本遊餉失に兩者生き、吉井も崎に二餉で杉谷封殺、宮三餉に梅本封殺され山内二飛（鞍）石橋三振、劍持二餉、中矢二壘强襲安打、平林左飛（兩軍—0）▲九回（電）三輪遊餉、高山右前安打、藤田遊餉に高山封殺、小池三邪飛（鞍）伊藤四球、北原投飛、北井二餉に伊藤封殺、牟田捕邪飛に萬事休す（兩軍—0）閉戰三時三十二分

戰評

新進鞍山は期待したる程の事なく凡失を繰返し中矢投手もコントロール惡く毎回殆んど電業の安打をあび六回にして一〇對二の大差を生じ全然試合の興味を失ふ所となつた、六回電業はラスト三輪から始り四安打二四球二敵失に打順一順一〇人の打者を送り六點を擧げ勝利を決定的のものとした、四回以後は徒らに回を重ねるのみで鞍山は挽回の闘志を失ふなど同時に反撥力無く平々凡々裡に終つた、試合内容に就いては特に記する價値なく唯最後に新進鞍山のために苦言を呈して置く、戰は兵家の常勝敗を度外視した不拔の覇氣を養成する事が今後の同チーム向上の最大急務である（源川生）

電（先）	打	得	安	犧	盜	三	四	失	殘
4 高山	4	2	1	0	1	0	2	1	0
2.9 藤田	6	1	1	0	0	0	0	1	1
5 小池	6	1	1	0	0	0	0	0	0
6 杉谷	4	2	1	0	0	0	1	0	0
8 梅本	4	2	2	0	0	0	1	0	0
3.1 宮崎	4	1	2	0	0	1	2	0	0
1.2 吉井	5	1	2	0	0	1	0	0	0
3 山田	2	0	0	0	0	0	1	0	2
9 山本	2	0	0	0	0	0	0	0	0
7 三輪	4	0	0	0	0	0	1	0	2
	41	10	10	0	1	2	8		

鞍	打	得	安	犧	盜	三	四	失	殘
4 兒玉	4	0	0	0	0	2	0	0	0
2 石橋	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2 劍持	4	0	0	0	0	1	0	0	0
8 中矢	4	1	1	0	0	0	0	0	0
1.9 平林	3	1	1	0	0	1	0	2	2
5 伊藤	4	0	2	0	0	0	0	1	1
3 北原	3	0	1	0	0	0	1	4	1
7 北井	4	0	0	0	0	2	0	0	0
9.1 北井	4	0	1	0	0	1	0	1	2
6 牟田	4	0	1	0	0	0	0	2	1
	35	2	7	0	0	7	1	10	7

4—3

新進四平街軍　大連實業を玉碎

接戰演じ見事大物を仕止む

續いて第二陣は優勝候補と自他共許す大連實業と新進四平街軍との間に午後四時から梅本（球）小淵、高須、小幡（壘）四氏審判の下に四平街の先攻にて開始せられたが、四平街の玉碎主義は遺憾なくフクホース振りを發揮し……

▲五回（四）時任捕邪飛、木戸一邪飛、岡田右前安打、石田四球、（この回岩瀨投手三代澤捕手、迫畑）井上三振（實）五味川、井上共に四球藤澤の代打木原の投前バンドで五味川三封、多々羅右飛、宮澤三振（兩軍—0）▲六回（四）和田左飛、因藤右中間三壘打、田井右線寄り安打に因藤還り吉田投餉に田井二封時任三遊間安打に吉田二進、木戸右飛（實）岩瀨投餉、山本遊餉、三代澤球、井筒、五味川共に四球で二死滿壘、井上の四球で三代澤を押出し木原中飛に止んだが一點を返す（四—0實—1）▲第七回（四）三者凡退（實）多々羅投餉、宮澤三振、岩瀨中飛失に生き山本一、二間安打に岩瀨二進、三代澤中飛▲第八回（四）和田投餉、因藤左線寄り二壘打、田井四球、吉田打者の時因藤三盜を企て刺され吉田二飛（實）井筒三振、五味川四球後投手牽制球を一壘後逸する間に二進、井上四球、木原三振、多々羅遊餉を一壘に低投して五味川還り井上三進澤投飛（四—0實—1）▲第九回（四）時任三壘左を拔いて出で木戸の投前犧牲バンドに二進、岡田左飛、石田三餉（實業）岩瀨二餉一壘⑪投に一擧二進、山本中飛を野手譲合つて安打とし岩瀨三進、山本二盜、三代澤右飛に岩瀨還り井筒の代打稻田投捕、五味川二餉に止む（四—0實—1）閉戰六時

一打者、木戸二—二後の高目の直球を右中間に三壘打して一點をものにし氣勢を擧げると同時に二回一死後因藤二越安打、次は四球、更に二定者と打者のヒツトエンドは見事に成功して吉田右翼線に殊勳の二壘打を放ち二點を加へ、三對〇と斷然有勢の地位を確保する結果となつた、三點の先取得點は捨身の一戰を試みた四平街に取つて「ヒツトしたら勝てるぞ」と云ふ自信を絕對的に植え付けたもので全員實力以上の好守備振りを示し因藤の好投と共に前半斷然實業を壓迫した、因藤はこの日快心の投球振りとは云へず四球多く毎回一乃至二多き時は四を數へる有樣で武器と云つてもカーブしか無く、實業の選手がカーブの打法を考へ一回でも良いカーブだけをねらつて打つと云ふ戰法を取つたら斯くまでの苦戰をせずに濟んだであらうし、因藤にしてもカーブの自信がなくなつたら恐らくお終ひだつたらう

◇……◇

實業は毎回四球で走者を出しながらものに出來ず徒らに因藤のカーブの好餌となるのみで六回二死後連續四つの四球で追出しの一點を擧げしのみで前半を終つた、五回三代澤投手、投球意の如くならず二死後二走者を出すに及んで岩瀨主將の出場をみるの止むなきに至つた、六回潮に乘つた四平街は因藤の右中間三壘打吉田の單打に一點を増し四對一となつた、八回又々二壘打に出た因藤の三盜は結果の如何に係らず絕體に愼むべき惡プレーである、同回裏實業は二四球と遊餉低球一壘手後逸する内に一點を擧げ四對二と迫り最終の回を迎へた

◇……◇

四平街無爲の後を受けて實業必死の攻撃にうつり岩瀨の二餉を野手二壘暴投して山本の二壘後方のフライを野手と二壘手譲り合つて安打とするに及んで、絕好のチャンス或はうつちやりを食はすか、それ共進擊成らず淚を吞むや、三代澤の右飛に岩瀨生還四對三と躄僅かに一點更に走者を二壘に置き一本ヒツト出んか同點となるべき場面を展開滿場騷然たる中に危機打者福田投餉、五味川二餉に萬事窓しく四平街は遂にこの巨鯨を物にした、實業敗因を云々するよりも四平街の奮闘を賞すべく因藤はこの日當り屋にて攻守共に拔群の殊勳を現はしたものである、大連實業は矢張り岩瀨老將に賴る外なきか現役若い選手諸君よ一意專心實業團を泰山の安きに置く事を心掛けられん事を祈つてペンを置く（源川）

竹田宮殿下

關東軍、宮內府に成らせらる

御滯京中の竹田宮恒德王殿下には廿九日午前十一時御宿所御出門關東軍司令部に成らせられ植田軍司令官に拜謁仰付けられ種々御歡談の後午後零時五分一たん御宿所に御歸還遊ばされ午後四時四十五分再び御出門午後五時宮內府に成らせられ滿洲國皇帝陛下と御對面一時間餘に亘つて種々御物語の上午後六時十分御宿所に御歸還遊ばされた

寫眞　（上）入場式　（中）阮文教部大臣の訓示　（下）國旗掲揚式

大連實業對四平街二回表四平街攻擊一死後吉田の左翼線上の二壘打にて一壘の田井本壘に生還

經過

▲一回（四）木戸右中間三壘打に出で岡田三餉に生還、石田二餉、井上二餉に退いたが一點を先取（實）井上四球に出で、藤澤の投前犧牲バンドに二進、多々羅中飛、投手暴投に井上三進、宮澤四球に出で三盜したが迫畑投餉に窓し（四—1實—0）▲二回（四）和田投餉、因藤中前安打に出で二盜、田井四球吉田左線寄り二壘打に因藤田井共に生還、時任三振大戶四球、岡田三振（實）山本遊擊右を拔いて出で三代澤四球、井筒三振、五味川打者の時山本二三回に夾殺、五味川三振（四—2實—0）▲三回（四）三者凡退（實）井上四球、藤澤遊飛の時井上出過ぎて重殺、多々羅二餉（兩軍—0）▲四回（四）三者凡退（實）宮澤四球に出で、二盜迫畑の四球に續き山本二餉に迫畑二封される間に宮澤三……

此の大物を四對三にて仕止めた閉戰五時五十五分

實	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3
四（先）	1	2	0	0	0	1	0	0	0	4

メンバー

實		四（先）	
6	井上	6	木戸
8	藤澤	2	岡田
3	多々羅	8	石田
7	宮澤	3	井上
2	迫畑	9	和田
5	山本	1	因藤
1	三代澤	7	田井
4	井筒	5	吉田
9	五味川	4	時任（弟）

トータル

	打	得	安	犧	盜	三	四	殘	失
實	30	3	3	1	6	7	14	15	0
（四）	33	4	9	1	1	5	4	8	4

評戰

近來好調の四平街捨身の一戰がどの程度に强豪大實に食ひ下るかが興味の中心であつた、戰が開始されるや四、第……

一日からお目見得の　新京遊覽バス

美しいガイド孃の説明で　名勝地隅なく遊覽

新京名勝地巡りの遊覽バスはいよ〳〵一日から毎日午前九時ビューロー前から發車するが二十九日午後一時から交通會社、觀光協會、驛、ビューロー、ヤマトホテル新聞通信者關係者一行四十六名が二台の遊覽バスに分乘して試乘運轉が行はれた、三十餘名のうちから選ばれた明朗な聲自慢のガイドガール高邊ハナエ（二五）新垣敏子（二〇）の兩孃が「お待ち遠うさまこれから新京名勝巡りをいたします、最初新京神社へ御參拜いたします、」と凉しい聲で案內を始め神社、忠靈塔參拜、寬城子戰跡地見學續いて宮內府淸眞寺、南嶺關帝廟とそれ〴〵案內ガールの美辭麗句を交へた說明があり、南嶺で少憩の後大同大街に出で護國般若寺等、電々會社屋上で伸びゆく國都の展望を終へ午後五時廿分新京驛で解散した、なほ一日からの遊覽バスは乘車料金大人一圓五十錢、小供七十五錢、乘車券發賣所せは驛前營業所ビューロー隣電話三—三七〇二、三—四〇二へ

問合

高級酒　滿洲櫻

有道公司　裁縫工場失火

二十九日午後七時二十分頃新京城內東小五馬路北門外派出所裏有道公司裁縫工場から發火工場一棟、仕立中の洋服など燒却し同四十五分漸く鎭火した、損害額五千圓、なほ原因については取調べ中である

新京國防婦人會　評議會開催

國防婦人會新京支部の評議會は二十九日午前九時から日滿軍人會館にて開催された出席者關東軍兵事部陶村少佐、高山地事社會主事、守屋、東條各夫人を始め五十名にて▲通過遺骨に花輪贈呈の件▲支部總會開催の件＝九月九日午後一時より日滿軍人會館若しくは記念公會堂にて支部總會を開き名士の講話、餘興等を催し閉會後新に設けられた電々、電業、關東局青年學校等各分會の發會式を擧行す▲紀元二千六百年祭事業に關する件＝二千六百年の記念事業として國防婦人會館設立各分會にて國體明徵に關する事業、護國廟に植樹することなど今から考へて置くこと▲神戶國婦慰問團來京の件＝神戶國防婦人會員十三名が九月八日來京一泊九日出發するがこれが歡迎方法等につき協議正午閉會した

諺文東亞日報　無期停刊

京城において發行の諺文紙東亞日報は二十七日より無期停刊處分に附された

鐵路總局辭令

新京自動車營業所辨事員事務員　本多竹治
敦化自動車營業所主任兼敦化自動車修理工場主任を命す（二十一日附）

滿洲曹達披露宴

滿洲曹達股份有限公司は來る三十一日あけぼので披露宴を催す

細川觀光協會　理事就任挨拶

新京特別市公署內に設置された新京觀光協會專任理事に就任した細川虎太郎氏は二十九日各方面を挨拶に歷訪した

第卅四期決算報告
（自昭和十一年二月一日　至昭和十一年七月卅一日）
貸借對照表
借方（資産之部）
未拂込資本金、預金、建物、事用線、什器、倉庫用材料、有價證券、假拂金、未收金、立替金、現金、合計
貸方（負債之部）
資本金、法定積立金、別途積立金、建物及專用線償却積立金、什器償却積立金、社員退職給與金、社員身元保證金、未拂配當金、假受金、前期繰越金、當期純益金、合計
昭和十一年七月三十一日　新京倉庫運輸株式會社
追而取締役改選の結果代表取締役阿川甲一、常務取締役宇野常吉取締役天野恒太郎取締役部乾一、就任せり

妖魔往來（映畫上演）

桃川燕二演
内山鉦太郎畫

三八

番頭の藤藏から、もう、決して御心配なさいますなと慰められたお龍は、

「誠に面目ないよ、藤藏の顔背お志津の事ばかり心配して叶通り……」

嘘ばつかり云つて居る、お勘殺して貰くなつたのが詮詰め此處で間に合つた。

「なに御心配は入りませんでした、お宅へ歸つて御覧なさいまし直ぐに安心出來ますから」

「そんな事を云ふではないか、宅に歸つたつておち〳〵として居られるものではない」

「それが歸らでないのですから餘程變なのです」

どちらが變だか些と分り惡い。藤藏の跡に從つてお龍はオツ〳〵として我家へ歸つて來た。家でも心配して居たと見え孫兵衛始め一同眼を泣赤にして昨夜寢なかつた事が直ぐに分る

「お歸りなさいまし、何方へお在でなすつたかと八方へ人を走らせて搜索をしたのでございます、多分龍眼寺から遠くへ出たのだらうと云ふ事でしてね、まさか近いお勘さんの所に居なさるとは思はなかつたのです、それでも藤藏どんが行つて來やうと云ふのでお迎ひに上げたのでした」

「誠にお前方までに心配を掛けて濟まなかつた、私の身になつて見て下さい、お志津が居なくなつたと云つてのめ〳〵と一人で歸れますか」

「御尤もでございますが、お嬢さんは幾ら搜したつて居る譯がございません、チヤント家においでなさるのでございますから」

「エ、ツお志津が家に居ますとね」

と云つてる所へ、奥からアタフタと出て來たのは、まごふ方なき娘のお志津。

「お母さんお歸りなさいまし」

「エ、ツお前はお志津」

驚いたの何のではございません。

あつと、跡へ飛下つてお志津の顔を穴の明く程見入つて居たが、如何にもお志津に違ひありません。

それは驚いたのはお龍ばかりではありません、讀者諸君も此處にお志津が居る筈がないと、思召すでございませう。

演者も少し變になつて來て、嗣を我知らず付けたやうな譯。お龍が歸つて來てお志津が挨拶に出た、これが丁度、夜が明けたばかり。

此時は宇都宮を入出隔つた江戸街道の森の中で、お志津の警備を宇都宮八郎が他所ながら守護して居た時刻。」

入出先にお志津が居たとすれば此處にお志津の居る譯がなく、此處にお志津が居たとすれば、向ふにお志津の居る譯がございません。

不思議な事に、同じ時刻に、南北と分れて同じお志津の居ることになる、どちらが本物のお志津であるか、どちらが偽のお志津であるか、呆然自失、是には迷はざるを得ませぬ次第。

併し向ふが本物にして此方が偽物にしろ鬼に角二人のお志津が出て來たには相違ない、お龍も餘りの不思議さに

「お志津お前は何うして職者の手から脱れて來ました、大娘の心配ではなかつたのでしたよ」

「手前は別段職者に何うされたこともございません、小僧の佐吉が昨晩帰くなつて歸つて來ました樣子を來きましたが、私はとんと合點が行きませぬ」

「だつて現在龍眼寺の手前で三人の職い奴に攫はれたではなかつたちやないか」